

第2章 担い手調査

1 基本情報

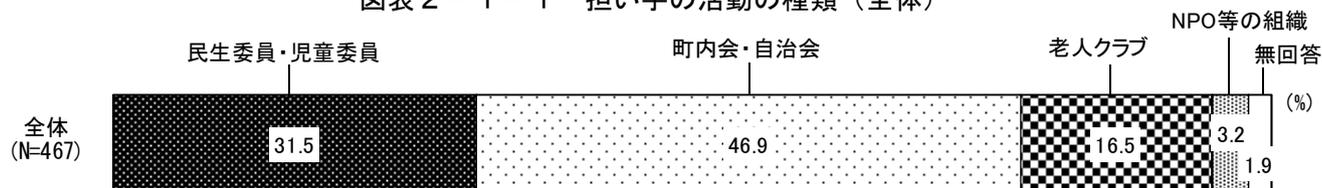
(1) 担い手の活動の種類 (問1)

調査対象は「民生委員・児童委員」、「町内会・自治会」、「老人クラブ」、「NPO等の組織」である。

回答者数は、「民生委員・児童委員」が147人、「町内会・自治会」が219人、「老人クラブ」が77人、「NPO等の組織」が15人、活動の種類が無回答が9人で、合計467人である。

回答者の割合は、「民生委員・児童委員」が31.5%、「町内会・自治会」が46.9%、「老人クラブ」が16.5%、「NPO等の組織」が3.2%、無回答が1.9%である。(図表2-1-1)

図表2-1-1 担い手の活動の種類 (全体)



(2) 性別 (民生委員・児童委員) (問2)

民生委員・児童委員の性別は、「男性」が26.5%、「女性」が72.8%である。(図表2-1-2)

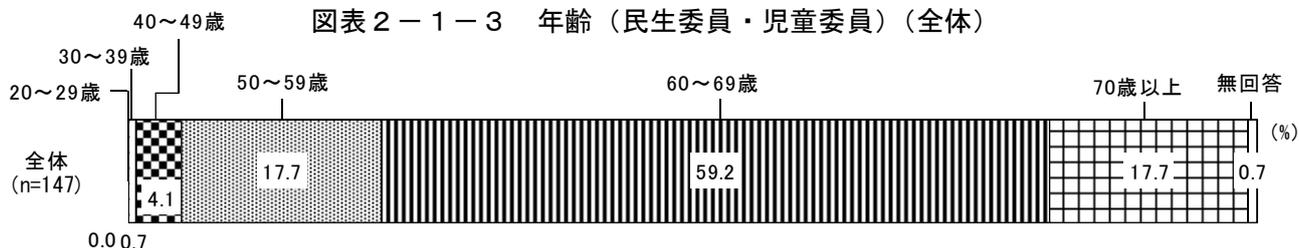
図表2-1-2 性別 (民生委員・児童委員) (全体)



(3) 年齢 (民生委員・児童委員) (問3)

民生委員・児童委員の年齢は、「60～69歳 (59.2%)」が最も多く、「50～59歳 (17.7%)」と「70歳以上 (17.7%)」が同数で続いている。(図表2-1-3)

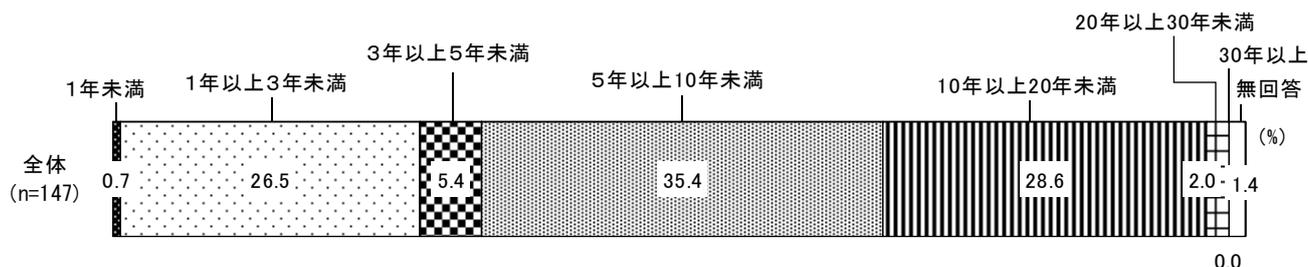
図表2-1-3 年齢 (民生委員・児童委員) (全体)



(4) 活動を始めてからの年数（民生委員・児童委員）（問4）

民生委員・児童委員の活動を始めてからの年数は、「5年以上10年未満（35.4%）」が最も多く、「10年以上20年未満（28.6%）」、「1年以上3年未満（26.5%）」が続いている。（図表2-1-4）

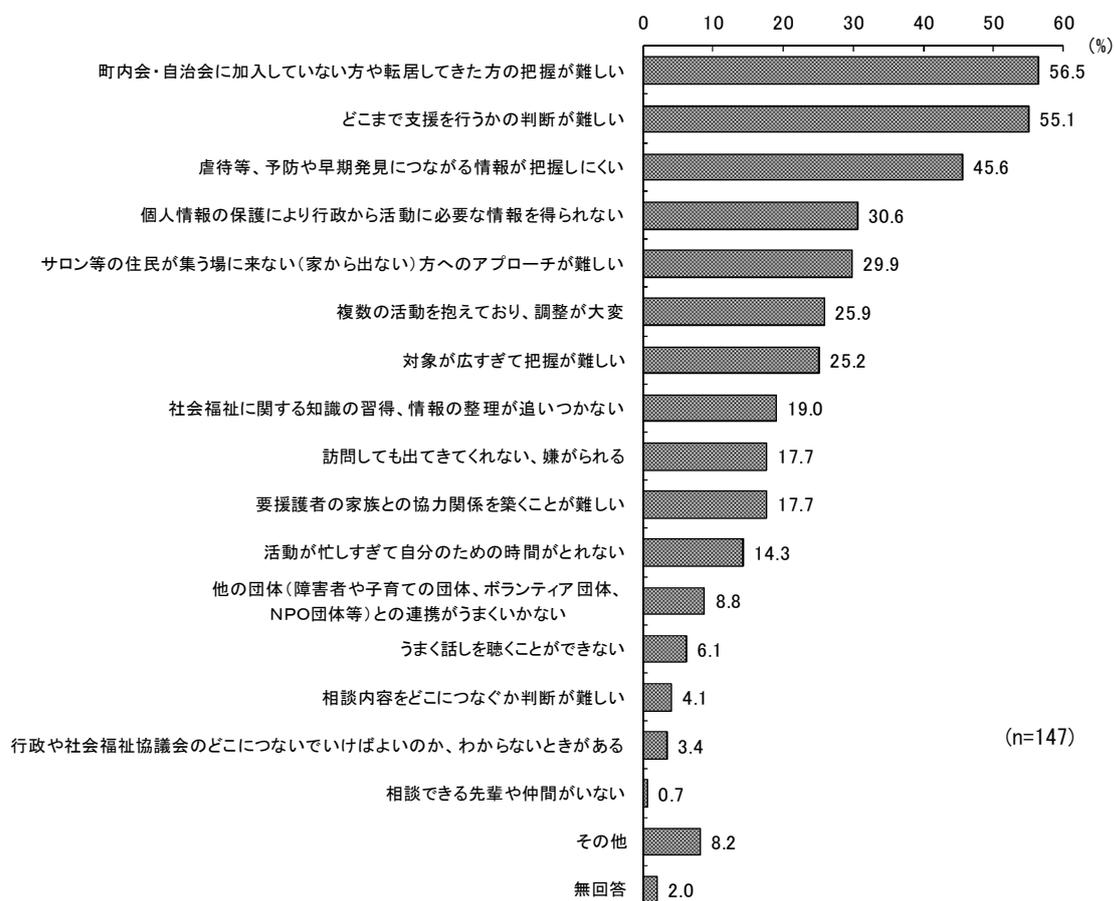
図表2-1-4 活動を始めてからの年数（民生委員・児童委員）（全体）



(5) 活動をする上で困っていることや課題（民生委員・児童委員）（問5）

民生委員・児童委員が活動をする上で困っていることや課題は、「町内会・自治会に加入していない方や転居してきた方の把握が難しい（56.5%）」が最も多く、「どこまで支援を行うかの判断が難しい（55.1%）」、「虐待等、予防や早期発見につながる情報が把握しにくい（45.6%）」が続いている。（図表2-1-5）

図表2-1-5 活動をする上で困っていることや課題（民生委員・児童委員）（全体：複数回答）



(6) 会員の人数（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織）（問6）

町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織の会員の人数は、全体では「10～29人（36.7%）」が最も多く、「10人未満（32.8%）」、「30～49人（13.2%）」が続いている。

担い手別にみると、町内会・自治会とNPO等の組織は「10人未満」がそれぞれ40.6%、40.0%で最も多いが、老人クラブは「10～29人（31.2%）」が最も多い。（図表2-1-6）

図表2-1-6 会員の人数（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織）（全体、担い手別）

		人数							無回答
		10人未満	10～29人	30～49人	50～69人	70～89人	90人以上		
全	体 (n= 311)	32.8	36.7	13.2	11.6	3.9	0.6	1.3	
担い手別	町内会・自治会 (n= 219)	40.6	38.4	11.0	5.0	3.7	0.9	0.5	
	老人クラブ (n= 77)	9.1	31.2	20.8	29.9	5.2	0.0	3.9	
	NPO等の組織 (n= 15)	40.0	40.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	

(7) 会員の男女比率（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等）（問7）

町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織の日ごろ活動しているメンバーの男女の比率は、全体では「男女比3：7」と「男女比5：5」が15.1%で最も多くなっている。

担い手別にみると、町内会・自治会は「男女比5：5（17.8%）」が最も多くなっている。老人クラブは「男女比3：7（33.8%）」が最も多く、NPO等の組織は「男女比0：10」と「男女比1：9」がともに26.7%で最も多くなっている。（図表2-1-7）

図表2-1-7 会員の男女比率（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織）（全体、担い手別）

		男女比											無回答
		0：10	1：9	2：8	3：7	4：6	5：5	6：4	7：3	8：2	9：1	10：0	
全	体 (n= 311)	4.2	7.1	11.6	15.1	11.6	15.1	7.1	7.1	6.1	5.8	5.5	3.9
担い手別	町内会・自治会 (n= 219)	4.1	5.9	8.2	9.1	10.5	17.8	9.1	8.7	8.7	7.8	7.8	2.3
	老人クラブ (n= 77)	0.0	6.5	20.8	33.8	15.6	7.8	2.6	3.9	0.0	1.3	0.0	7.8
	NPO等の組織 (n= 15)	26.7	26.7	13.3	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7

(8) 会員の年齢層（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織）（問8）

町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織の日ごろ活動しているメンバーの年齢層は、全体では「70代（38.9%）」が最も多く、「60代（33.1%）」、「50代（12.9%）」が続いている。

担い手別にみると、町内会・自治会は「60代（44.7%）」、老人クラブは、「70代（84.4%）」が最も多く、NPO等の組織は「30代」から「60代」までそれぞれ20.0%となっている。（図表2-1-8）

図表2-1-8 会員の年齢層（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織）（全体、担い手別）
(%)

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
全 体 (n= 311)		0.0	0.3	2.3	5.8	12.9	33.1	38.9	3.9	2.9
担い手別	町内会・自治会 (n= 219)	0.0	0.0	1.8	6.8	16.9	44.7	24.7	1.8	3.2
	老人クラブ (n= 77)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	84.4	10.4	2.6
	NPO等の組織 (n= 15)	0.0	6.7	20.0	20.0	20.0	20.0	13.3	0.0	0.0

(9) 団体の活動通算年数（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織）（問9）

町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織の団体の活動通算年数は、全体では「30年以上（52.7%）」が最も多く、「20年以上30年未満（12.9%）」、「10年以上20年未満（12.5%）」が続いている。

担い手別にみると、町内会・自治会と老人クラブは「30年以上」がそれぞれ53.9%、59.7%で最も多くなっている。NPO等の組織は「10年以上20年未満（33.3%）」が最も多くなっている。（図表2-1-9）

図表2-1-9 団体の活動通算年数（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織）（全体、担い手別）
(%)

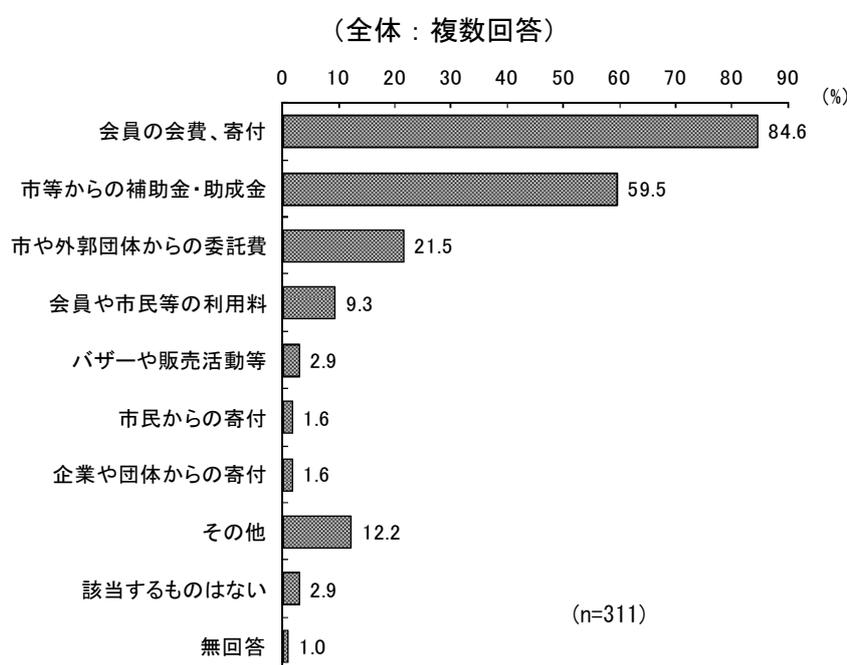
		1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	わからない	無回答
全 体 (n= 311)		3.2	3.5	2.3	7.1	12.5	12.9	52.7	3.5	2.3
担い手別	町内会・自治会 (n= 219)	4.1	3.2	2.3	5.9	11.0	13.7	53.9	5.0	0.9
	老人クラブ (n= 77)	0.0	2.6	0.0	6.5	13.0	13.0	59.7	0.0	5.2
	NPO等の組織 (n= 15)	6.7	13.3	13.3	26.7	33.3	0.0	0.0	0.0	6.7

(10) 主な活動資金の調達法（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織）（問10）

町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織の主な活動資金の調達法は、全体では「会員の会費、寄付（84.6%）」が最も多く、「市等からの補助金・助成金（59.5%）」、「市や外郭団体からの委託費（21.5%）」が続いている。（図表2-1-10-①）

担い手別にみると、町内会・自治会とNPO等の組織は「会員の会費、寄付」がそれぞれ85.4%、66.7%で最も多く、老人クラブは「市等からの補助金・助成金」が94.8%で最も多くなっている。（図表2-1-10-②）

図表2-1-10-① 主な活動資金の調達法（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織）



図表2-1-10-② 主な活動資金の調達法（町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織）

(全体、担い手別：複数回答)

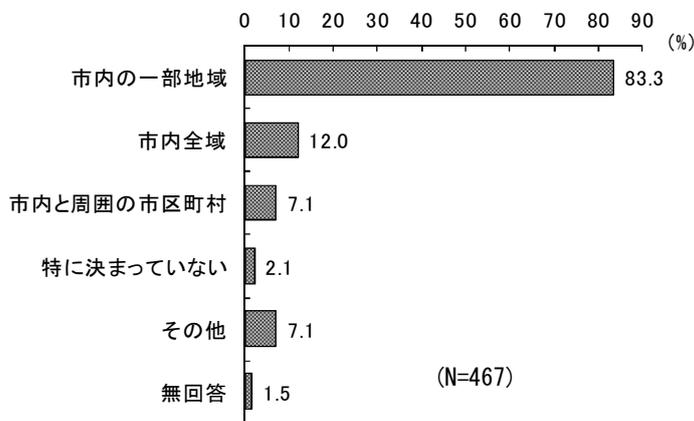
(%)

	会員の会費、寄付	市等からの補助金・助成金	市や外郭団体からの委託費	会員や市民等の利用料	バザーや販売活動等	市民からの寄付	企業や団体からの寄付	その他	該当するものはない	無回答	
全体 (n= 311)	84.6	59.5	21.5	9.3	2.9	1.6	1.6	12.2	2.9	1.0	
担い手別	町内会・自治会 (n= 219)	85.4	49.3	22.4	11.0	3.7	0.9	1.4	8.2	3.2	0.5
	老人クラブ (n= 77)	85.7	94.8	20.8	0.0	0.0	3.9	0.0	22.1	0.0	2.6
	NPO等の組織 (n= 15)	66.7	26.7	13.3	33.3	6.7	0.0	13.3	20.0	13.3	0.0

(11) 活動範囲（地域）（問 11）

活動範囲（地域）は、「市内の一部地域（83.3%）」が8割を超える。（図表2-1-11）

図表2-1-11 活動範囲（地域）（全体：複数回答）

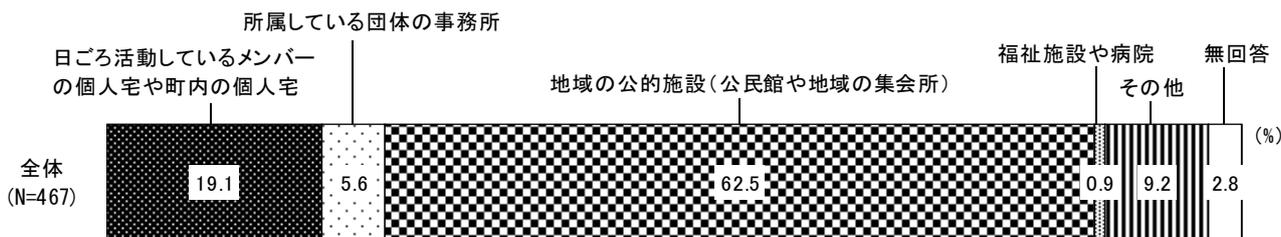


(12) 主な活動場所（問 12）

主な活動場所は、全体では「地域の公的施設（公民館や地域の集会所）（62.5%）」が最も多く、「日ごろ活動しているメンバーの個人宅や町内の個人宅（19.1%）」が続いている。（図表2-1-12-①）

担い手別にみると、民生委員・児童委員、町内会・自治会、老人クラブは「地域の公的施設（公民館や地域の集会所）」がそれぞれ44.2%、65.3%、94.8%で最も多いが、NPO等の組織は「所属している団体の事務所（46.7%）」が最も多い。（図表2-1-12-②）

図表2-1-12-① 主な活動場所（全体）



図表2-1-12-② 主な活動場所（全体、担い手別） (%)

		宅の日やメ 町内パ活 のし動 個人個 人宅い	の所 事 務 所 し て い る 団 体	集（地 会公 所民 ～） 館公 や 地 域 の	福 社 施 設 や 病 院	そ の 他	無 回 答
全	体 (N= 467)	19.1	5.6	62.5	0.9	9.2	2.8
担 い 手 別	民生委員・児童委員 (n= 147)	25.2	4.1	44.2	1.4	19.7	5.4
	町内会・自治会 (n= 219)	22.4	5.9	65.3	0.5	4.1	1.8
	老人クラブ (n= 77)	0.0	0.0	94.8	0.0	3.9	1.3
	NPO等の組織 (n= 15)	6.7	46.7	26.7	6.7	13.3	0.0

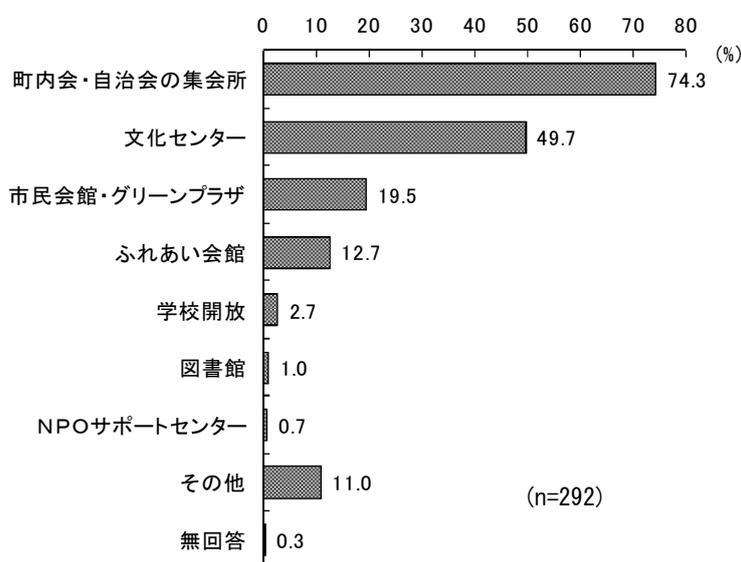
(13) 活動場所としている地域の公的施設（問 12-1）

活動場所について「地域の公的施設（公民館や地域の集会所）」と回答した人に、具体的な地域の公的施設をたずねた。全体では「町内会・自治会の集会所（74.3%）」が最も多く、「文化センター（49.7%）」、「市民会館・グリーンプラザ（19.5%）」が続いている。（図表 2-1-13-①）

担い手別にみると、民生委員・児童委員は「文化センター」が 66.2% で最も多く、町内会・自治会、老人クラブは「町内会・自治会の集会所」がそれぞれ 79.7%、86.3% で最も多くなっている。（図表 2-1-13-②）

図表 2-1-13-① 活動場所としている地域の公的施設（全体：複数回答）

＜地域の公的施設（公民館や地域の集会所）と回答した人＞



図表 2-1-13-② 活動場所としている地域の公的施設（全体、担い手別：複数回答）

＜地域の公的施設（公民館や地域の集会所）と回答した人＞

		町内会・自治会の集会所	文化センター	市民会館・グリーンプラザ	ふれあい会館	学校開放	図書館	NPOサポートセンター	その他	無回答
全 体 (n= 292)		74.3	49.7	19.5	12.7	2.7	1.0	0.7	11.0	0.3
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 65)	50.8	66.2	46.2	50.8	6.2	0.0	1.5	12.3	0.0
	町内会・自治会 (n= 143)	79.7	31.5	3.5	0.7	1.4	0.7	0.0	9.1	0.7
	老人クラブ (n= 73)	86.3	68.5	24.7	2.7	2.7	2.7	0.0	12.3	0.0
	NPO等の組織 (n= 4)	25.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0

2 活動内容

(1) 活動頻度 (問13)

活動頻度は、全体では「週2～3日 (31.0%)」が最も多く、「月2～3日 (16.3%)」、「週4～6日 (16.1%)」が続いている。(図表2-2-1-①)

担い手別にみると、民生委員・児童委員と老人クラブは「週2～3日」がそれぞれ46.3%、44.2%で最も多く、町内会・自治会は「月2～3日」が22.8%で最も多い。NPO等の組織は「週4～6日」が46.7%で最も多い。(図表2-2-1-②)

図表2-2-1-① 活動頻度 (全体)



図表2-2-1-② 活動頻度 (全体、担い手別)

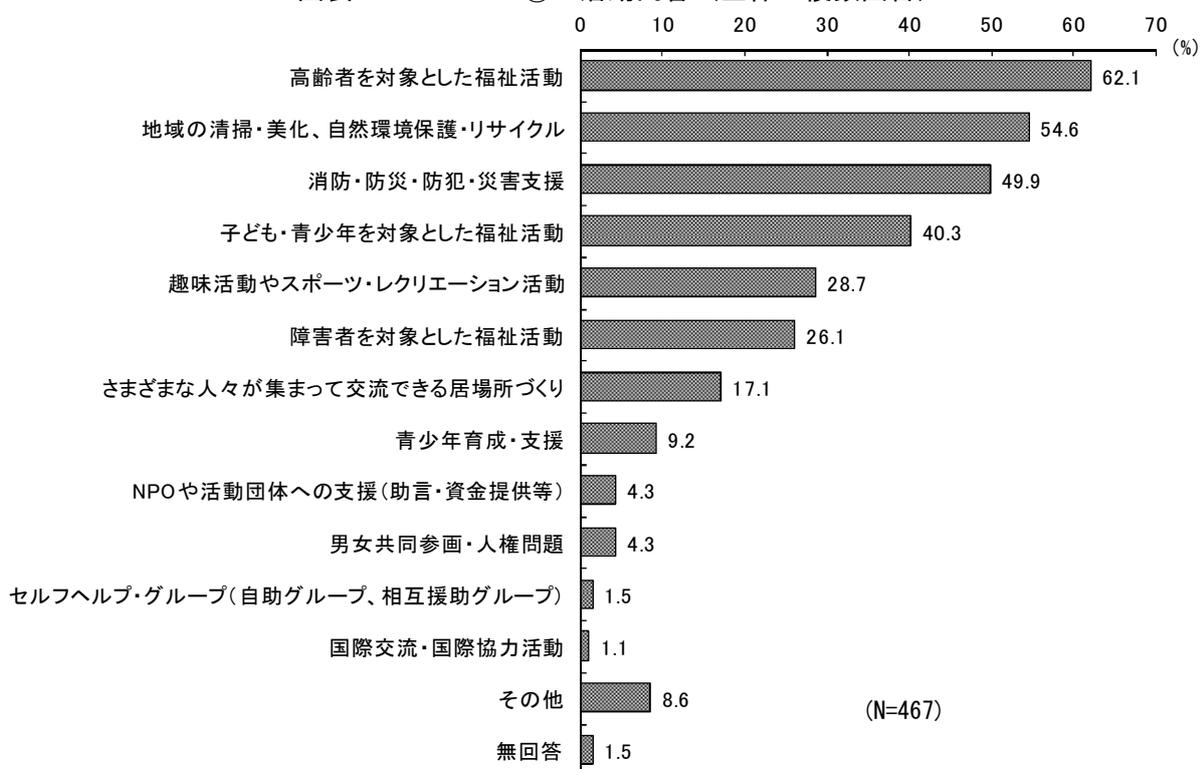
		毎日	週4 5 6 日	週2 3 日	週1 日	月2 3 日	月1 日	年6 7 8 9 10 11 日	年1 2 3 4 5 日	その他	無回答
全	体 (N= 467)	3.4	16.1	31.0	12.2	16.3	9.2	4.3	3.4	1.7	2.4
担 い 手 別	民生委員・児童委員 (n= 147)	0.7	23.1	46.3	10.9	11.6	2.7	0.0	0.7	2.0	2.0
	町内会・自治会 (n= 219)	3.2	8.2	17.4	13.7	22.8	15.5	7.8	6.8	1.8	2.7
	老人クラブ (n= 77)	5.2	20.8	44.2	13.0	9.1	3.9	1.3	0.0	0.0	2.6
	NPO等の組織 (n= 15)	13.3	46.7	13.3	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0

(2) 活動内容 (問 14)

活動内容は、全体では「高齢者を対象とした福祉活動 (62.1%)」が最も多く、「地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル (54.6%)」、「消防・防災・防犯・災害支援 (49.9%)」が続いている。(図表 2-2-2-①)

担い手別にみると、民生委員・児童委員は「高齢者を対象とした福祉活動」が 91.2%で最も多く、町内会・自治会、老人クラブは「地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル」がそれぞれ 70.3%、83.1%で最も多い。NPO の組織等は「障害者を対象とした福祉活動」が 33.3%で最も多くなっている。(図表 2-2-2-②)

図表 2-2-2-① 活動内容 (全体：複数回答)



図表 2-2-2-② 活動内容 (全体、担い手別：複数回答)

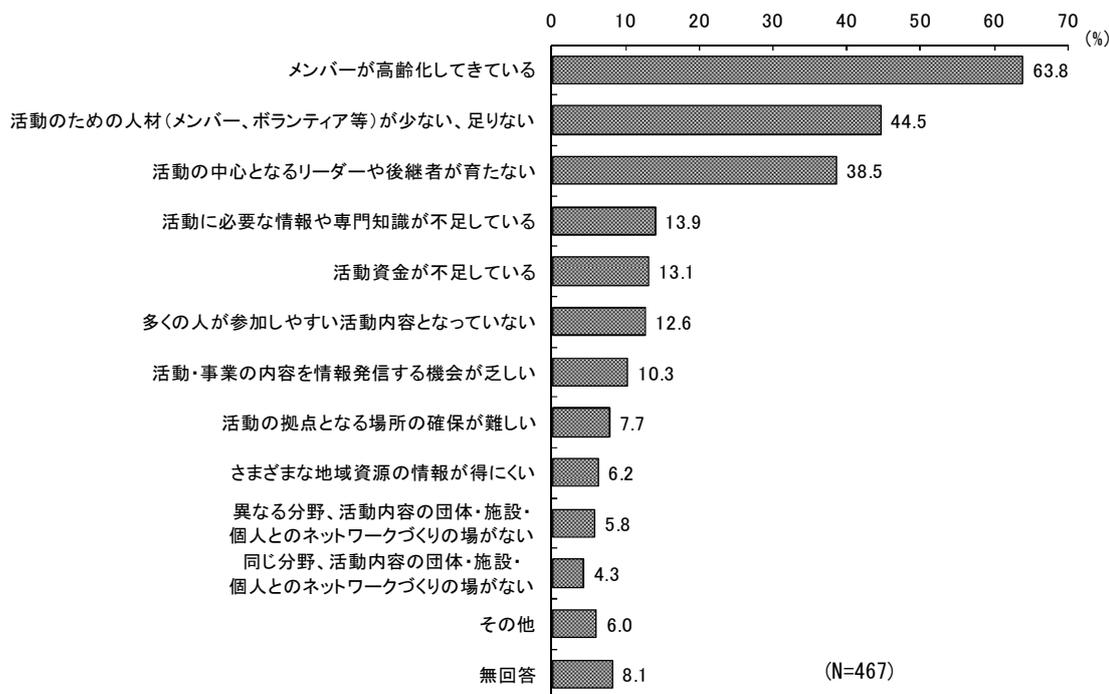
		高齢者を対象とした福祉活動	地域の清掃・美化、自然環境保護・リサイクル	消防・防災・防犯・災害支援	子ども・青少年を対象とした福祉活動	趣味活動やスポーツ・レクリエーション活動	障害者を対象とした福祉活動	さまざまな人々が集まって交流できる居場所づくり	青少年育成・支援	言・資金提供等への支援(助言・資金提供等)	男女共同参画・人権問題	セルフヘルプ・グループ・相互援助グループ(自助)	国際交流・国際協力活動	その他	無回答
全	体 (N= 467)	62.1	54.6	49.9	40.3	28.7	26.1	17.1	9.2	4.3	4.3	1.5	1.1	8.6	1.5
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	91.2	20.4	40.8	83.0	8.8	70.1	17.0	19.0	5.4	10.9	1.4	1.4	5.4	0.0
	町内会・自治会 (n= 219)	41.1	70.3	66.7	22.8	23.3	4.1	18.3	5.5	3.7	0.9	0.9	0.5	9.1	2.3
	老人クラブ (n= 77)	75.3	83.1	29.9	15.6	80.5	6.5	15.6	2.6	3.9	0.0	2.6	1.3	9.1	1.3
	NPO等の組織 (n= 15)	13.3	0.0	0.0	26.7	20.0	33.3	20.0	6.7	6.7	13.3	6.7	6.7	26.7	6.7

(3) 活動をする上で困っていることや課題 (問 15)

団体が活動をする上で困っていることは、全体では「メンバーが高齢化してきている (63.8%)」が最も多く、「活動のための人材 (メンバー、ボランティア等) が少ない、足りない (44.5%)」、「活動の中心となるリーダーや後継者が育たない (38.5%)」が続いている。(図表 2-2-3-①)

担い手別にみると、民生委員・児童委員、町内会・自治会、老人クラブともに「メンバーが高齢化してきている」が最も多く、その割合は、民生委員・児童委員が 39.5%、町内会・自治会が 75.3%、老人クラブが 85.7%となっている。NPO 等の組織は「活動のための人材 (メンバー、ボランティア等) が少ない、足りない」が 53.3%で最も多く「活動資金が不足している (40.0%)」が続いている。(図表 2-2-3-②)

図表 2-2-3-① 活動をする上で困っていることや課題 (全体：複数回答)



図表 2-2-3-② 活動をする上で困っていることや課題 (全体、担い手別：複数回答)

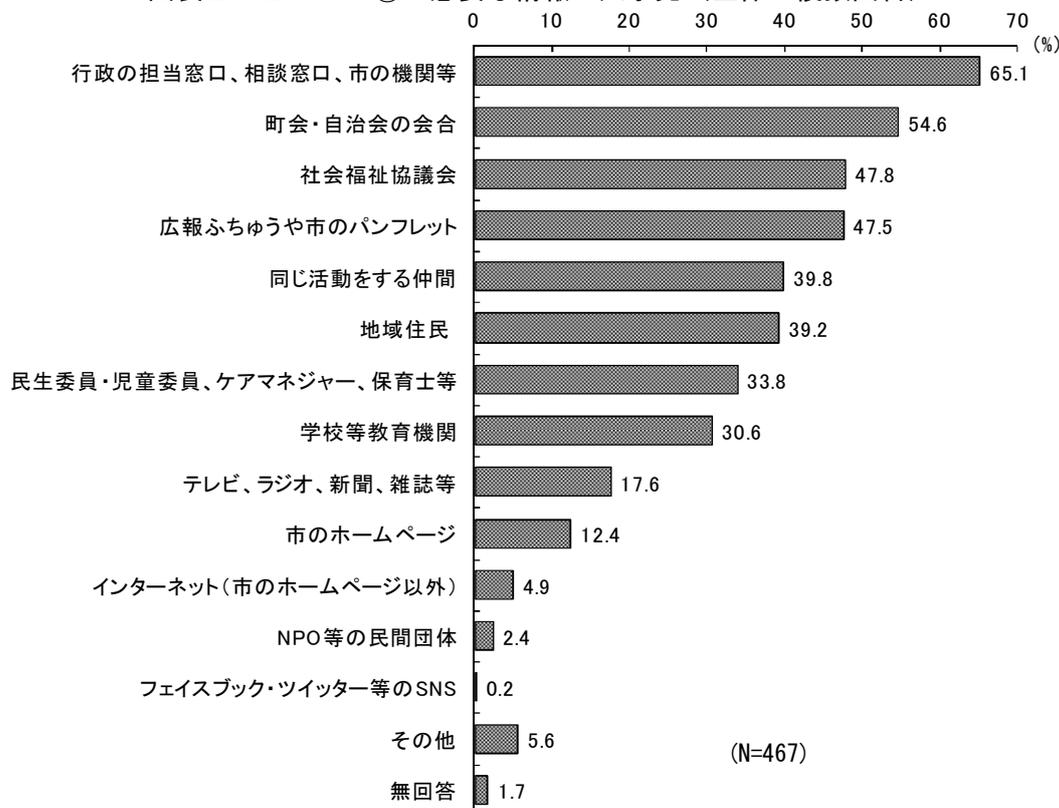
担い手別	団体	困っていることや課題 (割合 %)												
		メンバーが高齢化してきている	活動のための人材(メンバー、ボランティア等)が少ない、足りない	活動の中心となるリーダーや後継者が育たない	活動に必要な情報や専門知識が不足している	活動資金が不足している	多くの人が参加しやすい活動内容となっていない	活動・事業の内容を情報発信する機会が乏しい	活動の拠点となる場所の確保が難しい	さまざまな地域資源の情報が得にくい	異なる分野、活動内容の団体・施設・個人とのネットワークづくりの場がない	同じ分野、活動内容の団体・施設・個人とのネットワークづくりの場がない	その他	無回答
全	体 (N= 467)	63.8	44.5	38.5	13.9	13.1	12.6	10.3	7.7	6.2	5.8	4.3	6.0	8.1
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	39.5	35.4	15.6	21.1	4.1	10.9	15.6	2.7	14.3	9.5	4.1	5.4	15.0
	町内会・自治会 (n= 219)	75.3	46.6	43.8	11.9	13.2	15.1	6.8	7.3	1.8	2.7	4.6	6.4	6.4
	老人クラブ (n= 77)	85.7	55.8	68.8	9.1	22.1	11.7	7.8	14.3	2.6	7.8	5.2	5.2	2.6
	NPO 等の組織 (n= 15)	13.3	53.3	20.0	6.7	40.0	6.7	26.7	13.3	13.3	6.7	0.0	13.3	0.0

(4) 必要な情報の入手先 (問 16)

必要な情報の入手先は、全体では「行政の担当窓口、相談窓口、市の機関等 (65.1%)」が最も多く、「町会・自治会の会合 (54.6%)」、「社会福祉協議会 (47.8%)」、「広報ふちゅうや市のパンフレット (47.5%)」が続いている。(図表 2-2-4-①)

担い手別にみると、民生委員・児童委員は「行政の担当窓口、相談窓口、市の機関等 (83.7%)」と「社会福祉協議会 (82.3%)」が8割を超えている。町内会・自治会は「町会・自治会の会合 (66.2%)」、老人クラブは「行政の担当窓口、相談窓口、市の機関等 (59.7%)」と「同じ活動をする仲間 (59.7%)」、NPO等の組織は「同じ活動をする仲間 (66.7%)」がそれぞれ最も多くなっている。(図表 2-2-4-②)

図表 2-2-4-① 必要な情報の入手先 (全体：複数回答)



図表 2-2-4-② 必要な情報の入手先 (全体、担い手別：複数回答)

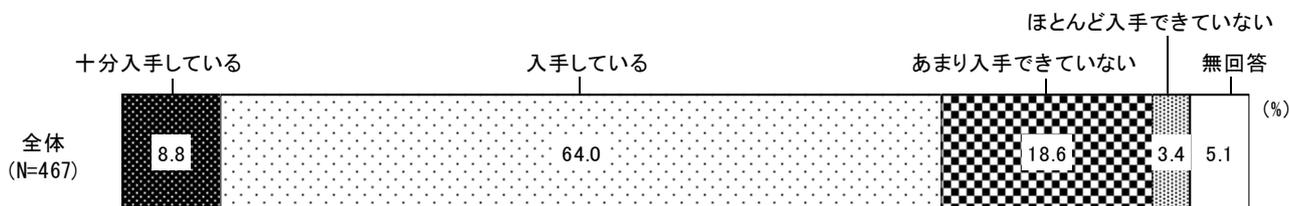
担い手別	行政、政市の担当窓口、相談窓	町会・自治会の会合	社会福祉協議会	広報ふちゅうや市のパン	同じ活動をする仲間	地域住民	民生委員・児童委員、ケアマネジャー、保育士等	学校等教育機関	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	市のホームページ	その他	インターネット(市のホームページ以外)	NPO等の民間団体	フェイスブック・SNS	無回答
全	65.1	54.6	47.8	47.5	39.8	39.2	33.8	30.6	17.6	12.4	5.6	4.9	2.4	0.2	1.7
民生委員・児童委員 (n= 147)	83.7	41.5	82.3	35.4	57.1	59.2	76.2	59.9	21.1	7.5	2.0	1.4	1.4	0.0	0.7
町内会・自治会 (n= 219)	55.7	66.2	32.4	52.5	19.2	30.6	14.6	21.5	16.0	14.2	3.7	5.0	0.9	0.5	1.4
老人クラブ (n= 77)	59.7	58.4	32.5	58.4	59.7	31.2	15.6	6.5	16.9	13.0	14.3	3.9	1.3	0.0	3.9
NPO等の組織 (n= 15)	40.0	0.0	20.0	46.7	66.7	20.0	6.7	6.7	13.3	33.3	13.3	46.7	33.3	0.0	0.0

(5) 行政からの情報入手 (問 17)

行政からの情報入手については、全体では「十分入手している (8.8%)」と「入手している (64.0%)」を合わせた《入手している》は72.8%である。一方、「あまり入手できていない (18.6%)」と「ほとんど入手できていない (3.4%)」を合わせた《入手できていない》は22.0%である。(図表2-2-5-①)

担い手別にみると、いずれも《入手している》が7割前後であり、民生委員・児童委員は79.6%、町内会・自治会は68.5%、老人クラブは72.7%、NPO等の組織は73.3%となっている。一方、《入手できていない》は民生委員・児童委員17.0%、町内会・自治会25.1%、老人クラブ20.8%、NPO等の組織26.6%となっている。(図表2-2-5-②)

図表2-2-5-① 行政からの情報入手 (全体)



図表2-2-5-② 行政からの情報入手 (全体、担い手別)

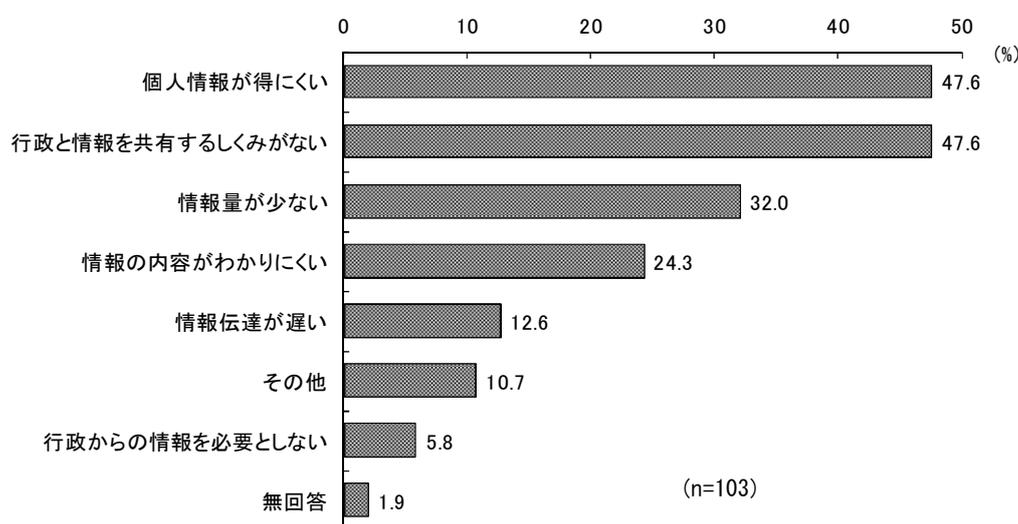
		(%)				
		十分入手している	入手している	あまり入手できていない	ほとんど入手できていない	無回答
全体 (N= 467)		8.8	64.0	18.6	3.4	5.1
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	7.5	72.1	15.0	2.0	3.4
	町内会・自治会 (n= 219)	7.3	61.2	21.0	4.1	6.4
	老人クラブ (n= 77)	13.0	59.7	19.5	1.3	6.5
	NPO等の組織 (n= 15)	13.3	60.0	13.3	13.3	0.0

(6) 行政からの情報入手について感じる事 (問 17-1)

行政からの情報入手について「あまり入手できていない」と「ほとんど入手できていない」と回答した人に行政からの情報入手について感じる事をたずねた。全体では「個人情報 that 得にくい (47.6%)」と「行政と情報を共有するしくみがない (47.6%)」が同数で最も多く、「情報量が少ない (32.0%)」が続いている。(図表 2-2-6-①)

担い手別にみると、民生委員・児童委員は「個人情報 that 得にくい」が 88.0%で最も多い。町内会・自治会、老人クラブ、NPO 等の組織は「行政と情報を共有するしくみがない」がそれぞれ 50%を越えて最も多くなっている。(図表 2-2-6-②)

図表 2-2-6-① 行政からの情報入手について感じる事 (全体：複数回答)
 <「あまり入手できていない」と「ほとんど入手できていない」と回答した人>



図表 2-2-6-② 行政からの情報入手について感じる事 (全体、担い手別)
 <「あまり入手できていない」と「ほとんど入手できていない」と回答した人>

		個人情報 that 得にくい	行政と情報を共有するしくみがない	情報量が少ない	情報の内容がわかりにくい	情報伝達が遅い	その他	行政からの情報を必要としない	無回答
全体 (n= 103)		47.6	47.6	32.0	24.3	12.6	10.7	5.8	1.9
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 25)	88.0	32.0	20.0	16.0	8.0	8.0	0.0	0.0
	町内会・自治会 (n= 55)	40.0	52.7	38.2	29.1	16.4	12.7	5.5	1.8
	老人クラブ (n= 16)	31.3	56.3	37.5	18.8	0.0	12.5	6.3	6.3
	NPO 等の組織 (n= 4)	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

3 地域の生活課題と解決策

(1) 地域で問題となっていると思うこと (問 18)

地域で問題となっていると思うことは、全体では「近隣住民同士の交流の減少 (60.6%)」、「日中独居の高齢者、障害者 (60.4%)」が6割を超え、「孤立 (孤独死) の防止 (40.7%)」が続いている。

担い手別にみると、民生委員・児童委員は「日中独居の高齢者、障害者 (77.6%)」が最も多く、また、「孤立 (孤独死の防止) 55.8%」、「認知症高齢者の生活支援 (51.7%)」、「福祉サービスにむすびついていない人 (42.2%)」、「子ども、高齢者への虐待の予防・対応 (32.0%)」も全体より15ポイント以上高い。町内会・自治会、老人クラブ、NPO等の組織は「近隣住民同士の交流の減少」が最も多くなっている。NPO等の組織は「障害者と地域の人々との交流 (40.0%)」が2位にあがっている。(図表2-3-1)

図表2-3-1 地域で問題となっていると思うこと (全体、担い手別：複数回答)

		近隣住民同士の交流の減少	日中独居の高齢者、障害者	孤立 (孤独死) の防止	防犯・治安	防災	認知症高齢者の生活支援	福祉サービスに結びついていない人	高齢者と子ども等異世代の交流	道路の段差や放置自転車等	ひきこもり	高齢者や障害者の地域の居場所	障害者の地域生活支援	子ども、高齢者への虐待の予防・対応	近隣との摩擦 (ゴミ屋敷、騒音等)	買物困難等生活課題	子育て不安	多問題を抱える世帯	生活困窮者、失業・生活再建等	障害者と地域の人々との交流	配偶者等からの暴力予防、対応	その他	無回答
全	体 (N= 467)	60.6	60.4	40.7	33.8	33.2	28.7	23.3	22.1	21.0	18.0	15.8	14.3	13.3	12.2	11.6	10.9	9.0	8.8	8.6	4.1	8.1	7.9
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	62.6	77.6	55.8	32.7	32.7	51.7	42.2	27.9	17.7	32.7	21.8	26.5	32.0	15.0	21.1	23.1	19.0	23.1	15.6	10.9	9.5	3.4
	町内会・自治会 (n= 219)	59.4	53.4	34.2	38.4	37.4	14.2	12.8	18.3	21.9	7.8	10.0	8.7	3.2	14.2	6.8	5.5	4.1	1.8	4.6	0.5	7.3	8.7
	老人クラブ (n= 77)	59.7	58.4	36.4	29.9	28.6	28.6	16.9	19.5	23.4	19.5	18.2	5.2	6.5	5.2	7.8	0.0	2.6	2.6	1.3	1.3	6.5	14.3
	NPO等の組織 (n= 15)	46.7	20.0	6.7	6.7	13.3	13.3	33.3	26.7	13.3	26.7	33.3	33.3	20.0	0.0	6.7	33.3	20.0	6.7	40.0	6.7	13.3	13.3

(2) 地域の問題を解決するための方策 (問 19)

地域の問題を解決するための方策は、全体では「地域の集まりへの参加を促すこと (53.3%)」が最も多く、「行政、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、町内会・自治会、老人クラブ、NPO等、地域福祉の担い手となる人々が連携をもつこと (52.0%)」、「地域活動を活発にする (防災訓練、清掃活動等) こと (45.4%)」が続いている。(図表2-3-2)

担い手別にみると、民生委員・児童委員は「行政、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、町内会・自治会、老人クラブ、NPO等、地域福祉の担い手となる人々が連携をもつこと (73.5%)」が最も多く、「地域の見守り活動を活性化させること (58.5%)」が続いている。町内会・自治会はと老人クラブは「地域の集まりへの参加を促すこと」がそれぞれ 48.9% 64.9%で最も多い。NPO等の組織は「地域の問題を専門的なサービスにつなげること (40.0%)」が最も多くなっている。(図表2-3-2)

図表2-3-2 地域の問題を解決するための方策 (全体、担い手別：複数回答)

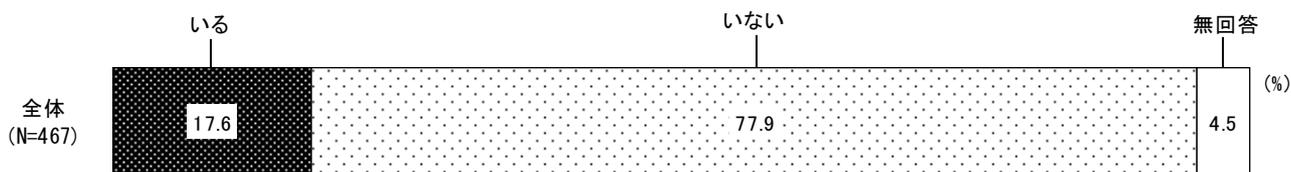
		地域の集まりへの参加を促すこと	町内会・自治会・社会福祉協議会、民生委員・児童委員、老人クラブ等が連携をもつこと	地域活動を活発にする (防災訓練、清掃活動等) こと	町内会・自治会への入会を勧めること	地域の見守り活動を活性化させること	民生委員・児童委員、NPO等、地域福祉の担い手となる人々を増やすこと	地域の問題を専門的な福祉サービスにつなげること	住民のボランティア活動を活発化させること	相談窓口を充実させること	その他	無回答
全	体 (N= 467)	53.3	52.0	45.4	42.2	41.8	34.5	21.8	17.1	16.3	5.1	8.1
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	57.1	73.5	43.5	50.3	58.5	40.1	32.7	20.4	16.3	6.8	3.4
	町内会・自治会 (n= 219)	48.9	36.1	48.4	36.5	32.4	25.6	15.1	14.2	17.8	3.7	10.0
	老人クラブ (n= 77)	64.9	61.0	49.4	49.4	41.6	51.9	16.9	15.6	11.7	5.2	10.4
	NPO等の組織 (n= 15)	33.3	33.3	0.0	6.7	20.0	6.7	40.0	33.3	20.0	6.7	20.0

(3) 福祉サービスに結びついていない人の有無（問20）

支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスに結びついていない人たちの有無は、全体では「いる」が17.6%、「いない」が77.9%である。（図表2-3-3-①）

担い手別にみると、「いる」は、民生委員・児童委員は33.3%、町内会・自治会は9.1%、老人クラブは11.7%、NPO等の組織は20.0%となっている。（図表2-3-3-②）

図表2-3-3-① 福祉サービスに結びついていない人の有無（全体）



図表2-3-3-② 福祉サービスに結びついていない人の有無（全体、担い手別）

		(%)		
		いる	いない	無回答
全 体 (N= 467)		17.6	77.9	4.5
担 い 手 別	民生委員・児童委員 (n= 147)	33.3	63.3	3.4
	町内会・自治会 (n= 219)	9.1	85.4	5.5
	老人クラブ (n= 77)	11.7	85.7	2.6
	NPO等の組織 (n= 15)	20.0	66.7	13.3

(4) 福祉サービスに結びついていない人の具体例と応援や支援のしかた（問20-1）

支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスに結びついていない人たちが「いる」と回答した人に、福祉サービスに結びついていない人の具体例と応援や支援のしかたについて、意見・要望を自由記述形式でたずねたところ、全体で78件の回答があった。

ひとり暮らしや経済的問題、セルフネグレクト、支援拒否などのさまざまな問題を抱えた高齢者についての事例が多くみられたが、高校退学者への支援、地域包括支援センターが支援できる年齢ではない（40歳から60歳代）人への支援、精神的に問題を抱えている人で複合的な問題がある人などがあがった。以下、主なものを掲載する。

- ・ 経済的問題の高齢者や家族の協力を得られない高齢者については、ほとんど絶望的だと思う。（老人クラブ）
- ・ ひとり暮らしの高齢者（マンション内）ではプライバシー上、自由に入出入りできない。（町内

会・自治会)

- ・ひとり暮らしの高齢者で介護を嫌う人。認知症を自分で認めていない人（周囲の迷惑に気付かない）。老々介護状態の老夫婦。ぎりぎりの生活をしている高齢者。引きこもりの子どもをもつ母子家庭（事実を隠している）。（民生委員・児童委員）
- ・生活保護等を受けていないひとり暮らし高齢者等。（民生委員・児童委員）
- ・ワンルームマンションにひとり暮らし（男性80歳）。認知症ひとり暮らし（女性）。本人が希望していない場合や、近い身元引受人がない等の場合、支援センターの方も遠のいています。もう少し親身になってかかわってくれる方がいてほしいと思います。民生委員ひとりではなく、何人かでチームを組んで見守る体制ができれば動きやすいように思います。（民生委員・児童委員）
- ・高齢夫婦で夫が入院、妻が毎日見舞う生活の中、借家の立ち退きを迫られ、都・市営住宅の申し込みを重ねているが、ポイント有効性にもかかわらず当選できずにいる。大家さんの事情（高齢で夫婦とも施設入所と入院）もあり、経済面でも時間的にも早期立ち退きを要請していることも理解でき、その間で対応に困っている。（町内会・自治会）
- ・支援しようと思っても、なかなか同意してくれなくて自分で何とかしようと思って頑張っている。（民生委員・児童委員）
- ・健康面ではありませんが、ごみ屋敷状態になっている高齢者のひとり暮らしの方がおられ、地域包括支援センターの方と一っしょに協力して何とかできないかと当事者と話し合っているのですが、量が多くなってきているので、費用がかかるため前に進まない。行政が入って援助できないものかと考えています。（民生委員・児童委員）
- ・自治会に入会していない。生活保護を受けて、民間アパートに住んでいる人々の把握ができない。（民生委員・児童委員）
- ・地域包括支援センターが支援できる年齢ではない（40～60歳代）人の孤立や引きこもり（助けを求めてくれない）になってしまっている独身者。高齢者ではないが、心身共に病気を抱えているが他人に相談したくない人など。（民生委員・児童委員）
- ・40歳代で精神科通院歴があり、引きこもり状態に近い生活をしている女性がいます。見守ってはいますが、本人は拒否的な態度です。収入源がないことも心配です。（民生委員・児童委員）
- ・精神に問題を抱えているのにもかかわらず、高齢の父親とふたりで暮らしている人がいる。生活費は父親の年金のみで、新聞も取らず、困窮した生活をしている。生活保護が最後のセーフティネットと言われているが、その前にも、住居の確保とかにも支援してほしい。そして、生活保護受給が罪悪であるかのようなイメージを行政自らが払拭してほしい。（NPO等の組織）
- ・中学校を卒業し、高校退学者への就労支援。どこにも所属していないため、支援に入っていくのが難しい。中学校の時に不登校で卒業後、家にいる子への支援。15～18歳の子どもたちへのかかわり方が必要だと思います。（民生委員・児童委員）

(5) 地域住民の中で協力者の必要性 (問 21)

地域活動をするにあたって地域住民の中で協力者の必要性は、全体では「必要性を感じる (43.3%)」と「どちらかといえば感じる (32.1%)」を合わせて、75.4%となっている。(図表 2-3-4)

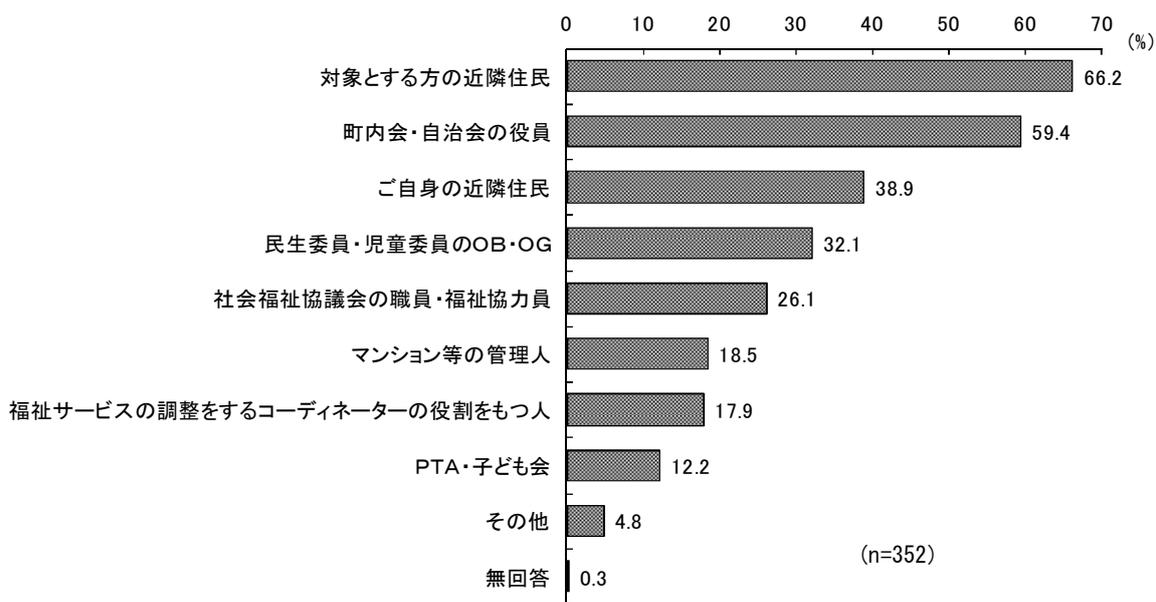
図表 2-3-4 地域住民の中で協力者の必要性 (全体)



(6) 協力者として適当な人 (問 21-1)

地域活動をするにあたって地域住民の中で協力者の必要性について、「必要性を感じる」と「どちらかといえば感じる」と回答した人に、協力者として適当な人はだれかをたずねた。全体では、「対象とする方の近隣住民 (66.2%)」が最も多く、「町内会・自治会の役員 (59.4%)」、「ご近所の近隣住人 (38.9%)」が続いている。(図表 2-3-5)

図表 2-3-5 協力者として適当な人 (全体：複数回答)
 <「必要性を感じる」と「どちらかといえば感じる」と回答した人>



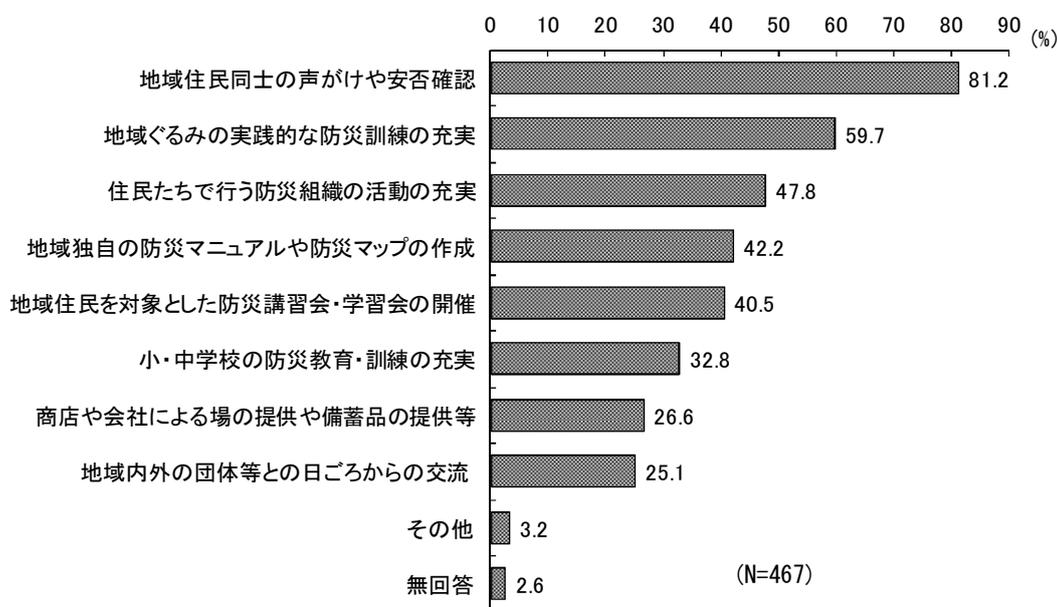
4 災害時の支え合い

(1) 災害時に協働で進める地域の支え合い（問 22）

災害に備えて市民や企業等が行政と協働で取り組むとよいと思うものは、全体では「地域住民同士の声かけや安否確認（81.2%）」が最も多く、「地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実（59.7%）」、「住民たちで行う防災組織の活動の充実（47.8%）」が続いている。（図表 2-4-1-①）

担い手別にみると、民生委員・児童委員、町内会・自治会、老人クラブは1位と2位が全体と同じである。NPO等の組織は1位は全体と同じであるが、2位に「地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成（53.3%）」があがっている。（図表 2-4-1-②）

図表 2-4-1-① 災害時に協働で進める地域の支え合い（全体：複数回答）



図表 2-4-1-② 災害時に協働で進める地域の支え合い（全体、担い手別：複数回答）

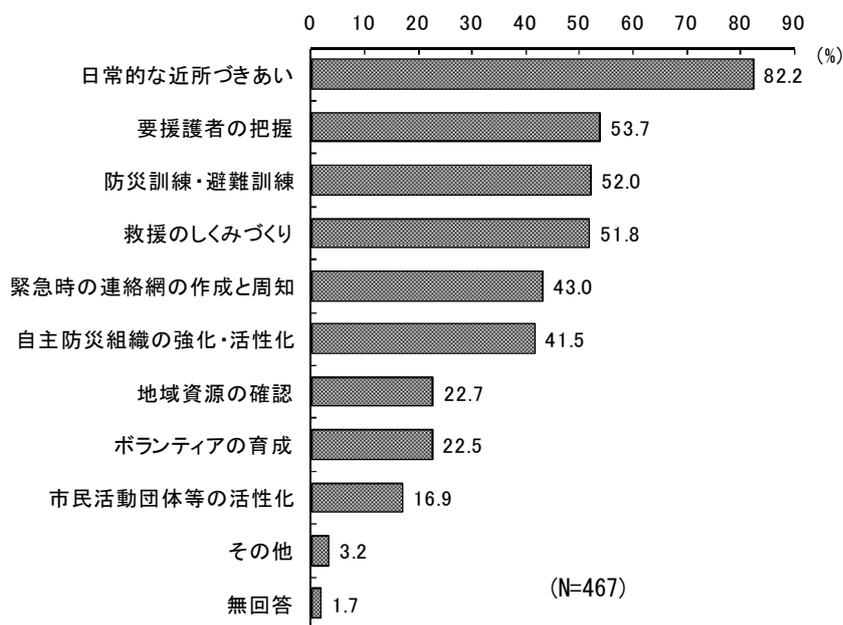
		確認	地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実	住民たちで行う防災組織の活動の充実	地域独自の防災マニュアルや	地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催	小・中学校の防災教育・訓練の充実	商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等	地域内外の団体等との日ごろからの交流	その他	無回答
全	体 (N= 467)	81.2	59.7	47.8	42.2	40.5	32.8	26.6	25.1	3.2	2.6
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	83.0	66.0	47.6	49.7	40.8	47.6	37.4	29.3	4.1	2.7
	町内会・自治会 (n= 219)	79.5	56.2	46.6	36.5	37.9	28.8	20.5	19.6	2.3	2.3
	老人クラブ (n= 77)	81.8	66.2	57.1	41.6	49.4	19.5	19.5	32.5	2.6	3.9
	NPO等の組織 (n= 15)	73.3	20.0	20.0	53.3	26.7	13.3	40.0	33.3	6.7	0.0

(2) 災害時において互いを支え合うために日常的に必要な取組み (問 23)

災害時において互いを支え合うために日常的に必要な取組みは、全体では「日常的な近所づきあい(82.2%)」が最も多く、「要援護者の把握(53.7%)」、「防災訓練・避難訓練(52.0%)」、「救援のしくみづくり (51.8%)」が続いている。(図表2-4-2-①)

担い手別にみると、NPO等の組織は「市民活動団体等の活性化 (46.7%)」が全体に比べて30ポイント近く高い。(図表2-4-2-②)

図表2-4-2-① 災害時において互いを支え合うために日常的に必要な取組み (全体：複数回答)



図表2-4-2-② 災害時において互いを支え合うために日常的に必要な取組み (全体、担い手別：複数回答)

		日常的な近所づきあい	要援護者の把握	防災訓練・避難訓練	救援のしくみづくり	緊急時の連絡網の作成と周知	自主防災組織の強化・活性化	地域資源の確認	ボランティアの育成	市民活動団体等の活性化	その他	無回答
全	体 (N= 467)	82.2	53.7	52.0	51.8	43.0	41.5	22.7	22.5	16.9	3.2	1.7
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	84.4	66.7	51.0	59.2	46.9	49.0	31.3	31.3	13.6	4.8	2.0
	町内会・自治会 (n= 219)	79.9	47.0	53.9	42.9	38.8	41.1	20.1	16.9	13.7	0.9	1.4
	老人クラブ (n= 77)	88.3	48.1	53.2	59.7	50.6	33.8	14.3	26.0	26.0	6.5	2.6
	NPO等の組織 (n= 15)	80.0	60.0	33.3	60.0	20.0	20.0	33.3	13.3	46.7	0.0	0.0

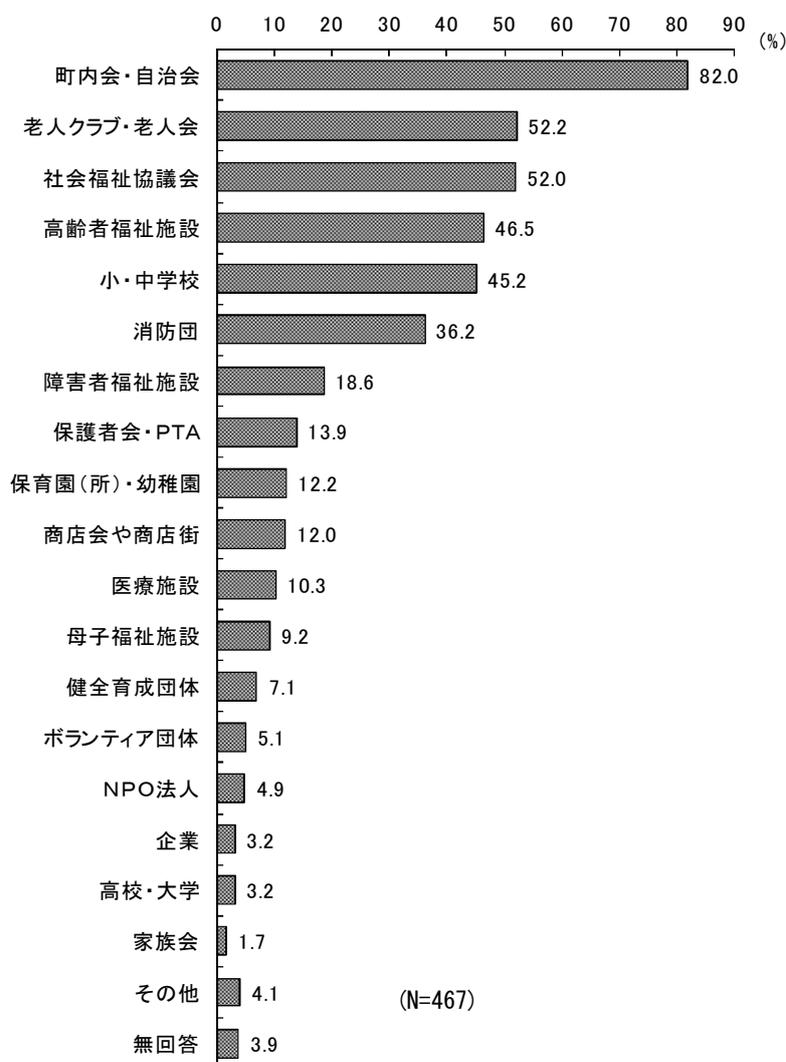
5 今後の活動等

(1) 他の組織や団体との交流・協力関係の現状（問 24）

他の団体やグループとの交流・協力関係は、全体では「町内会・自治会（82.0%）」が最も多く、「老人クラブ・老人会（52.2%）」、「社会福祉協議会（52.0%）」が続いている。（図表 2-5-1-①）

担い手別にみると、民生委員・児童委員は「社会福祉協議会（87.1%）」が最も多く、「小・中学校（81.0%）」、「高齢者福祉施設（71.4%）」、「障害者福祉施設（44.2%）」、「母子福祉施設（26.5%）」も全体に比べて高い。町内会・自治会は「消防団（52.5%）」が全体に比べて高い。老人クラブは「老人クラブ・老人会（84.4%）」が最も多い。（図表 2-5-1-②）

図表 2-5-1-① 他の組織や団体との交流・協力関係の現状（全体：複数回答）



第2部 アンケート調査の結果

図表2-5-1-② 他の組織や団体との交流・協力関係の現状（全体、担い手別：複数回答）

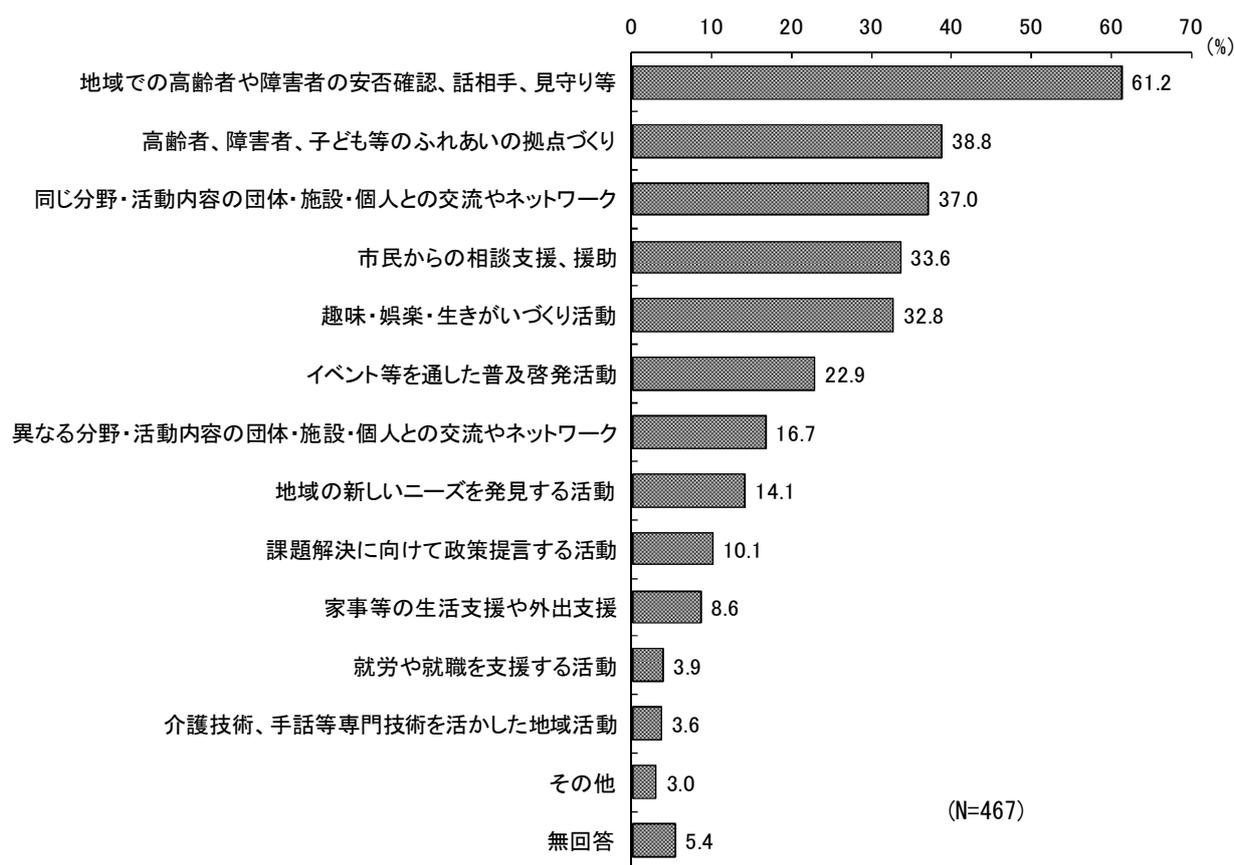
		町内会・自治会	老人クラブ・老人会	社会福祉協議会	高齢者福祉施設	小・中学校	消防団	障害者福祉施設	保護者会・PTA	保育園（所）・幼稚園	商店会や商店街	医療施設	母子福祉施設	健全育成団体	ボランティア団体	NPO法人	企業	高校・大学	家族会	その他	無回答
全 体 (N= 467)		82.0	52.2	52.0	46.5	45.2	36.2	18.6	13.9	12.2	12.0	10.3	9.2	7.1	5.1	4.9	3.2	3.2	1.7	4.1	3.9
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	85.7	59.9	87.1	71.4	81.0	23.8	44.2	19.0	23.1	9.5	12.2	26.5	14.3	7.5	6.1	2.7	2.7	2.7	3.4	2.0
	町内会・自治会 (n= 219)	84.0	38.4	33.3	29.7	34.2	52.5	5.5	14.6	7.8	14.6	8.2	1.4	5.0	1.8	4.1	3.7	3.2	0.0	3.2	4.6
	老人クラブ (n= 77)	81.8	84.4	42.9	55.8	16.9	19.5	9.1	5.2	5.2	9.1	13.0	1.3	1.3	6.5	1.3	2.6	2.6	5.2	2.6	6.5
	NPO等の組織 (n= 15)	13.3	6.7	40.0	13.3	20.0	0.0	20.0	0.0	13.3	13.3	13.3	0.0	0.0	20.0	26.7	6.7	6.7	0.0	20.0	0.0

(2) これから力を入れていきたい活動（問25）

これから力を入れていきたい活動は、全体では「地域での高齢者や障害者の安否確認、話相手、見守り等（61.2%）」が最も多く、「高齢者、障害者、子ども等のふれあいの拠点づくり（38.8%）」、「同じ分野・活動内容の団体・施設・個人との交流やネットワーク（37.0%）」が続いている。（図表2-5-2-①）

担い手別にみると、民生委員・児童委員と町内会・自治会は「地域での高齢者や障害者の安否確認、話相手、見守り等」がそれぞれ78.9%、52.1%で最も多いが、民生委員・児童委員は2位に「市民からの相談支援、援助（67.3%）」が続き、町内会・自治会は「同じ分野・活動内容の団体・施設・個人との交流やネットワーク（35.2%）」が続いている。老人クラブは「趣味・娯楽・生きがいがづくり活動（72.7%）」、NPO等の組織は「同じ分野・活動内容の団体・施設・個人との交流やネットワーク（60.0%）」が最も多い。（図表2-5-2-②）

図表2-5-2-① これから力を入れていきたい活動（全体：複数回答）



図表2-5-2-② これから力を入れていきたい活動（全体、担い手別：複数回答）

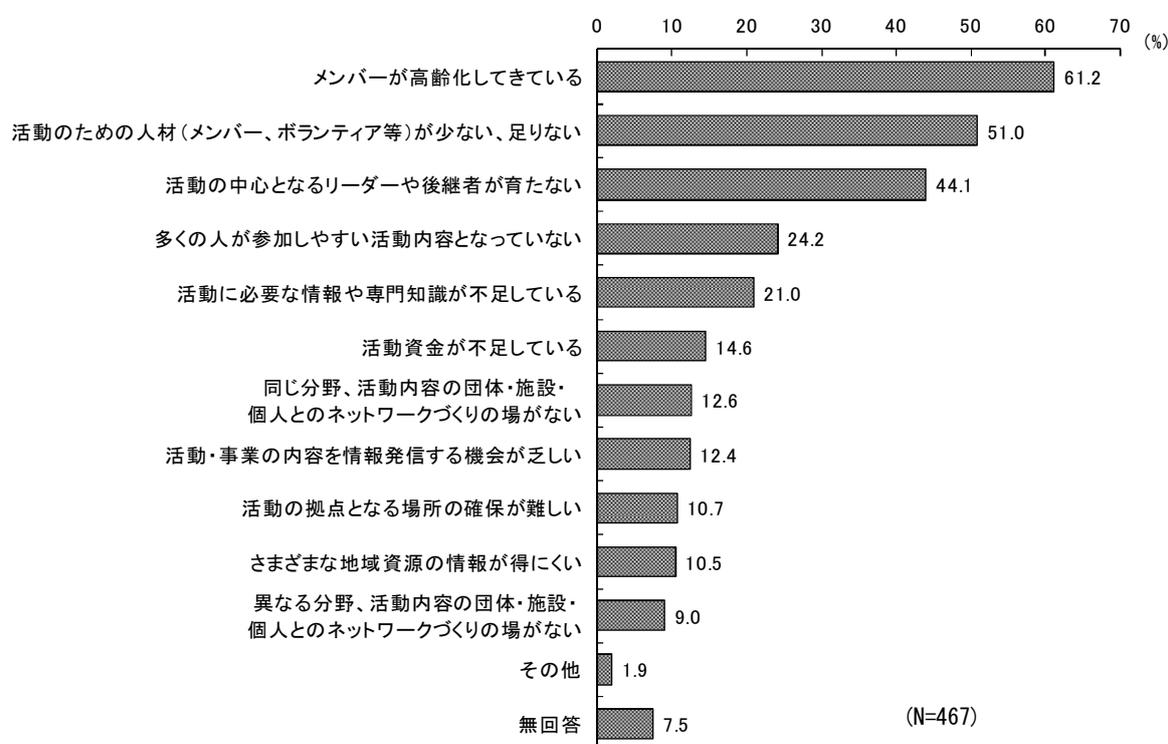
		地域での高齢者や障害者の安否確認、話相手、見守り等	高齢者、障害者の拠点づくり	同じ分野・活動内容の団体・施設・個人との交流やネットワーク	市民からの相談支援、援助	趣味・娯楽・生きがいづくり活動	イベント等を通じた普及啓発活動	異なる分野・活動内容の団体・施設・個人との交流やネットワーク	地域の新しいニーズを発見する活動	課題解決に向けて政策提言する活動	家事等の生活支援や外出支援	就労や就職を支援する活動	介護技術、手話等専門技術を活かした地域活動	その他	無回答
全	体 (N= 467)	61.2	38.8	37.0	33.6	32.8	22.9	16.7	14.1	10.1	8.6	3.9	3.6	3.0	5.4
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	78.9	48.3	34.7	67.3	17.7	22.4	25.2	16.3	13.6	7.5	6.8	5.4	0.7	3.4
	町内会・自治会 (n= 219)	52.1	32.0	35.2	17.8	28.8	23.3	9.6	13.7	7.8	7.8	2.3	3.2	3.2	6.8
	老人クラブ (n= 77)	63.6	40.3	41.6	18.2	72.7	19.5	18.2	13.0	9.1	10.4	1.3	2.6	3.9	6.5
	NPO等の組織 (n= 15)	20.0	40.0	60.0	26.7	33.3	33.3	33.3	13.3	20.0	20.0	13.3	0.0	13.3	0.0

(3) これから力を入れていきたい活動を行う上での課題（問26）

これから力を入れていきたい活動を推進していくための課題は、全体では「メンバーが高齢化してきている（61.2%）」が最も多く、「活動のための人材（メンバー、ボランティア等）が少ない、足りない（51.0%）」、「活動の中心となるリーダーや後継者が育たない（44.1%）」が続いている。（図表2-5-3-①）

担い手別にみると、民生委員・児童委員は「活動のための人材（メンバー、ボランティア等）が少ない、足りない（50.3%）」が最も多く、町内会・自治会と老人クラブは「メンバーが高齢化してきている」がそれぞれ73.1%、77.9%で最も多い。NPO等の組織は「活動資金が不足している（46.7%）」が最も多い。（図表2-5-3-②）

図表2-5-3-① これから力を入れていきたい活動を行う上での課題（全体：複数回答）



図表2-5-3-② これから力を入れていきたい活動を行う上での課題
(全体、担い手別：複数回答)

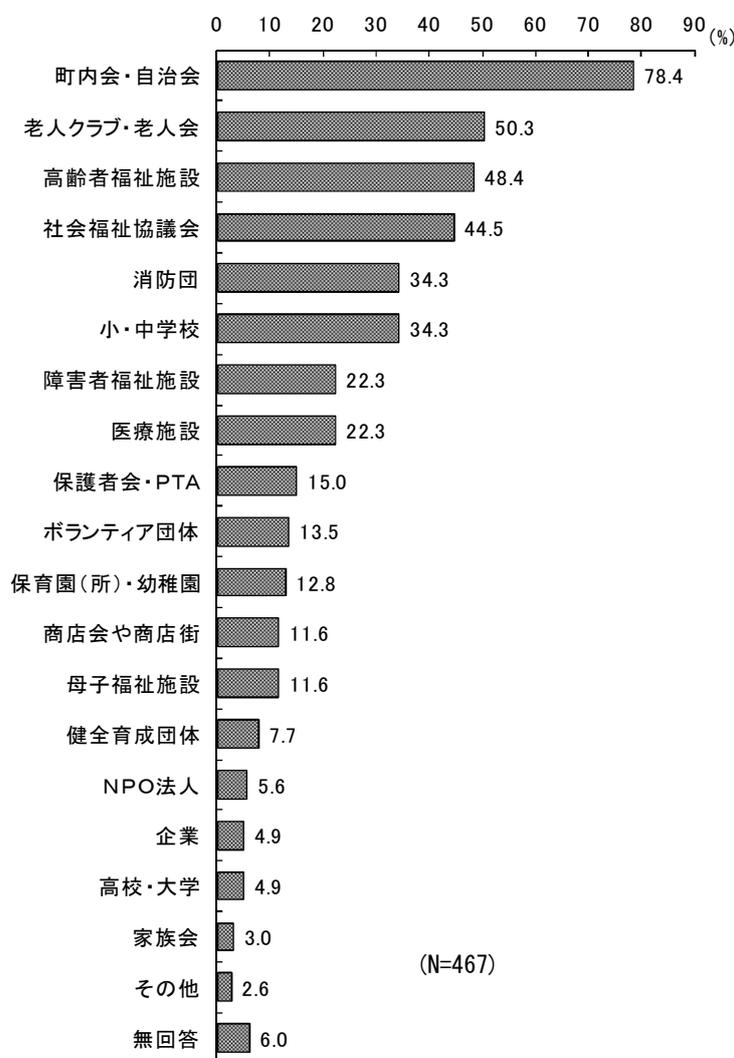
		メンバーが高齢化してきている	活動のための人材(メンバー、ボランティア等)が少ない、足りない	活動の中心となるリーダーや後継者が育たない	多くの人が参加しやすい活動内容となっていない	活動に必要な情報や専門知識が不足している	活動資金が不足している	同じ分野、活動内容の団体・施設・個人とのネットワークづくりの場がない	活動・事業の内容を情報発信する機会が乏しい	活動の拠点となる場所の確保が難しい	さまざまな地域資源の情報が得にくい	異なる分野、活動内容の団体・施設・個人とのネットワークづくりの場がない	その他	無回答
全	体 (N= 467)	61.2	51.0	44.1	24.2	21.0	14.6	12.6	12.4	10.7	10.5	9.0	1.9	7.5
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	39.5	50.3	34.0	26.5	25.9	6.8	13.6	15.6	8.8	19.0	12.2	2.0	6.8
	町内会・自治会 (n= 219)	73.1	47.9	44.3	23.3	20.1	13.2	11.9	10.0	7.3	6.8	5.0	1.8	8.2
	老人クラブ (n= 77)	77.9	57.1	64.9	23.4	14.3	27.3	11.7	11.7	15.6	6.5	10.4	2.6	6.5
	NPO等の組織 (n= 15)	20.0	60.0	33.3	13.3	20.0	46.7	20.0	26.7	40.0	6.7	20.0	0.0	6.7

(4) 今後、交流・協力関係を深めたい団体や組織（問27）

今後、交流・協力関係を深めたい団体や組織は、全体では「町内会・自治会（78.4%）」が最も多く、「老人クラブ・老人会（50.3%）」、「高齢者福祉施設（48.4%）」が続いている。（図表2-5-4-①）

担い手別にみると、民生委員・児童委員、町内会・自治会、老人クラブは「町内会・自治会」がそれぞれ83.7%、75.8%、84.4%で最も多く、民生委員・児童委員は2位以下に「社会福祉協議会（70.1%）」、「高齢者福祉施設（68.0%）」が7割前後で続いている。また、老人クラブは「老人クラブ・老人会（80.5%）」が2位にあがっている。NPO等の組織は、「社会福祉協議会（40.0%）」が最も多い。（図表2-5-4-②）

図表2-5-4-① 今後、交流・協力関係を深めたい団体や組織（全体：複数回答）



第2部 アンケート調査の結果

図表2-5-4-② 今後、交流・協力関係を深めたい団体や組織（全体、担い手別：複数回答）

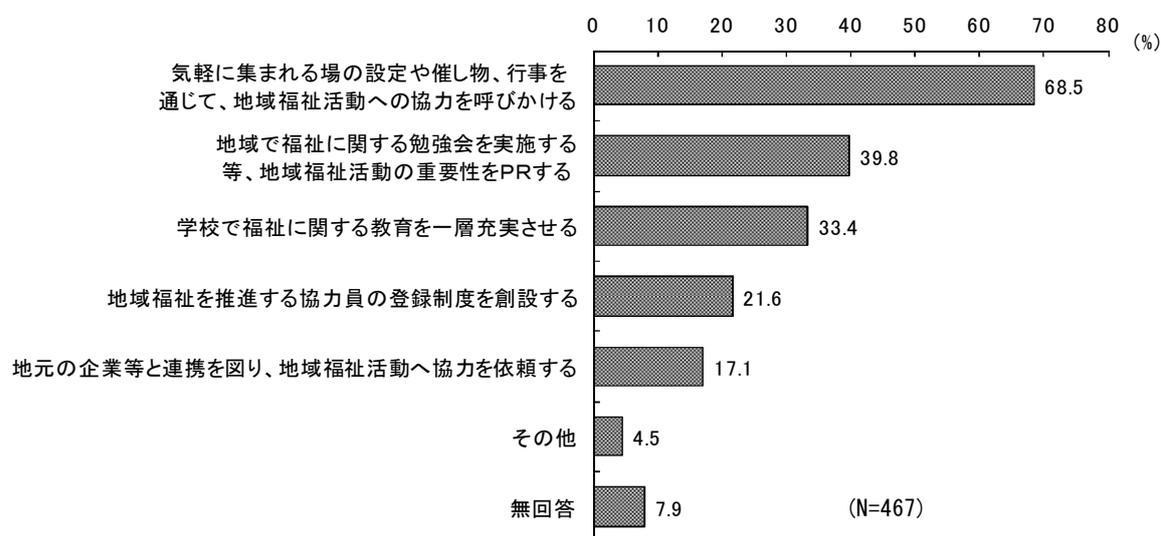
		町内会・自治会	老人クラブ・老人会	高齢者福祉施設	社会福祉協議会	消防団	小・中学校	障害者福祉施設	医療施設	保護者会・PTA	ボランティア団体	保育園（所）・幼稚園	商店会や商店街	母子福祉施設	健全育成団体	NPO法人	企業	高校・大学	家族会	その他	無回答
全	体 (N= 467)	78.4	50.3	48.4	44.5	34.3	34.3	22.3	22.3	15.0	13.5	12.8	11.6	11.6	7.7	5.6	4.9	4.9	3.0	2.6	6.0
担 い 手 別	民生委員・児童委員 (n= 147)	83.7	61.2	68.0	70.1	27.9	63.3	47.6	26.5	21.1	16.3	27.2	10.9	29.9	14.3	8.8	4.8	7.5	6.1	1.4	4.1
	町内会・自治会 (n= 219)	75.8	34.7	32.4	32.4	46.6	24.2	10.5	18.3	13.7	11.0	5.5	10.5	4.1	6.4	4.6	3.7	2.7	1.4	1.4	8.2
	老人クラブ (n= 77)	84.4	80.5	61.0	33.8	18.2	11.7	6.5	26.0	7.8	16.9	5.2	11.7	1.3	1.3	0.0	5.2	1.3	2.6	3.9	5.2
	NPO等の組織 (n= 15)	20.0	13.3	26.7	40.0	0.0	20.0	33.3	26.7	20.0	13.3	26.7	33.3	0.0	0.0	20.0	26.7	26.7	0.0	20.0	0.0

(5) 地域の人材（担い手）を増やすために必要なこと（問28）

地域の課題に取り組む地域の人材（担い手）を増やすために必要なことは、全体では「気軽に集まれる場の設定や催し物、行事を通じて、地域福祉活動への協力を呼びかける（68.5%）」が最も多く、「地域で福祉に関する勉強会を実施する等、地域福祉活動の重要性をPRする（39.8%）」、「学校で福祉に関する教育を一層充実させる（33.4%）」が続いている。（図表2-5-5-①）

担い手別にみると、いずれの担い手も「気軽に集まれる場の設定や催し物、行事を通じて、地域福祉活動への協力を呼びかける」が最も多いが、NPO等の組織は「地元の企業等と連携を図り、地域福祉活動へ協力を依頼する（53.3%）」が同数で1位にあがっている。（図表2-5-5-②）

図表2-5-5-① 地域の人材（担い手）を増やすために必要なこと（全体：複数回答）



図表2-5-5-② 地域の人材（担い手）を増やすために必要なこと（全体、担い手別：複数回答）

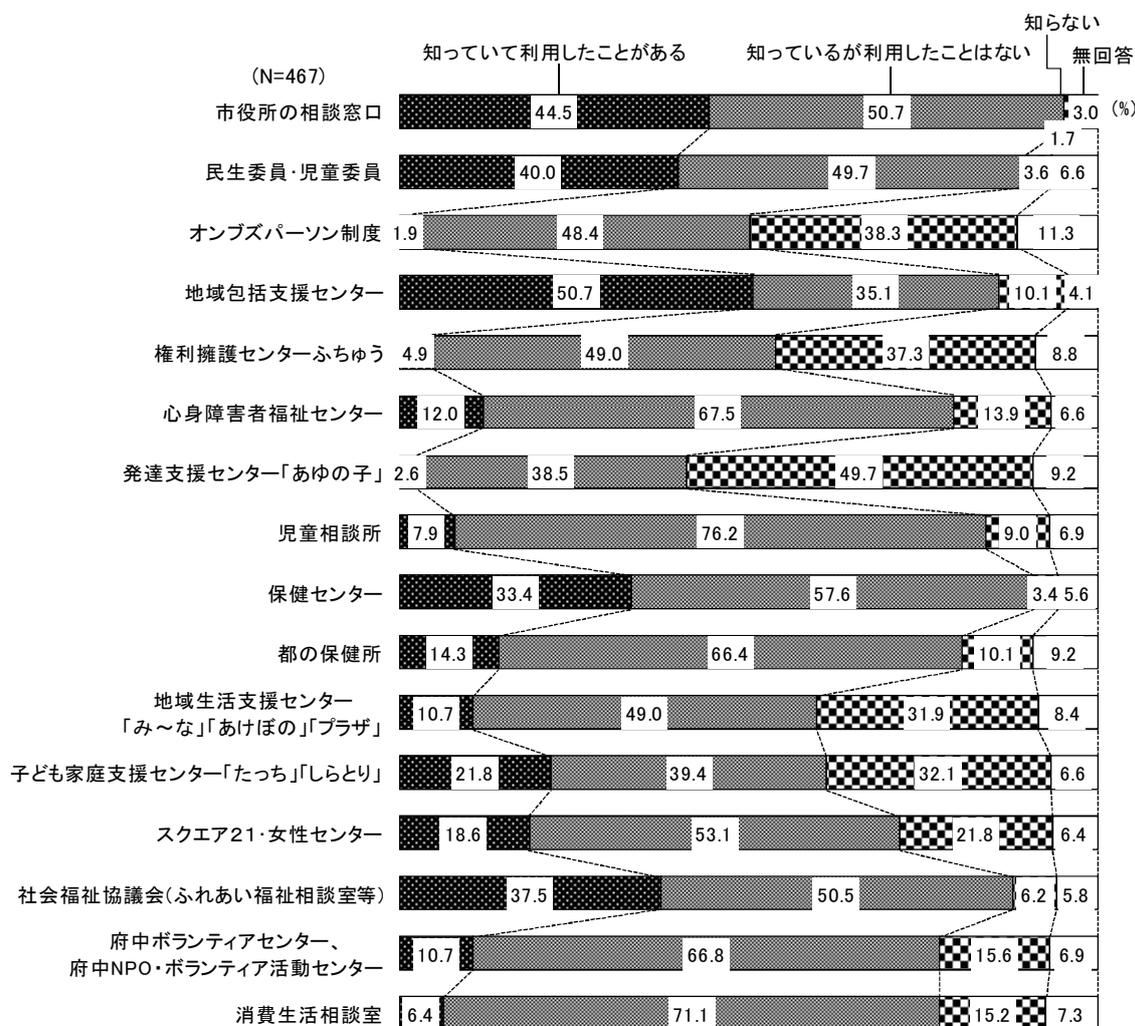
		動物への軽集協力をまを通れる呼びかける場、の地域福祉活動の重要性をPRする	施設等で福祉に関する地域福祉活動の重要性をPRする	学校で福祉に関する教育を一層充実させる	地域福祉を推進する協力員の登録制度を創設する	地域の企業等と連携を図り、地域福祉活動へ協力を依頼する	その他	無回答
全	体 (N= 467)	68.5	39.8	33.4	21.6	17.1	4.5	7.9
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	70.7	44.9	44.2	29.9	25.9	4.1	3.4
	町内会・自治会 (n= 219)	65.8	33.8	32.0	15.1	10.0	3.2	11.4
	老人クラブ (n= 77)	75.3	48.1	15.6	27.3	15.6	5.2	7.8
	NPO等の組織 (n= 15)	53.3	26.7	33.3	13.3	53.3	20.0	0.0

6 行政への要望・期待

(1) 市の相談事業や施設などの認知度と利用状況（問29）

市の相談事業や施設などの認知度と利用状況は、「知っているが利用したことはない」と「知っているが利用したことがある」は『地域包括支援センター（50.7%）』が最も多く、『市役所の相談窓口（44.5%）』、『民生委員・児童委員（40.0%）』が続いている。「知っているが利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせて《知っている》は、『市役所の相談窓口（95.2%）』が最も多く、『保健センター（91.0%）』、『民生委員・児童委員（89.7%）』が続いている。一方、「知らない」は、『発達支援センター「あゆの子」（49.7%）』が最も多く、『オンブズパーソン制度（38.3%）』、『権利擁護センターふちゅう（37.3%）』が続いている。（図表2-6-1）

図表2-6-1 市の相談事業や施設などの認知度と利用状況（全体）

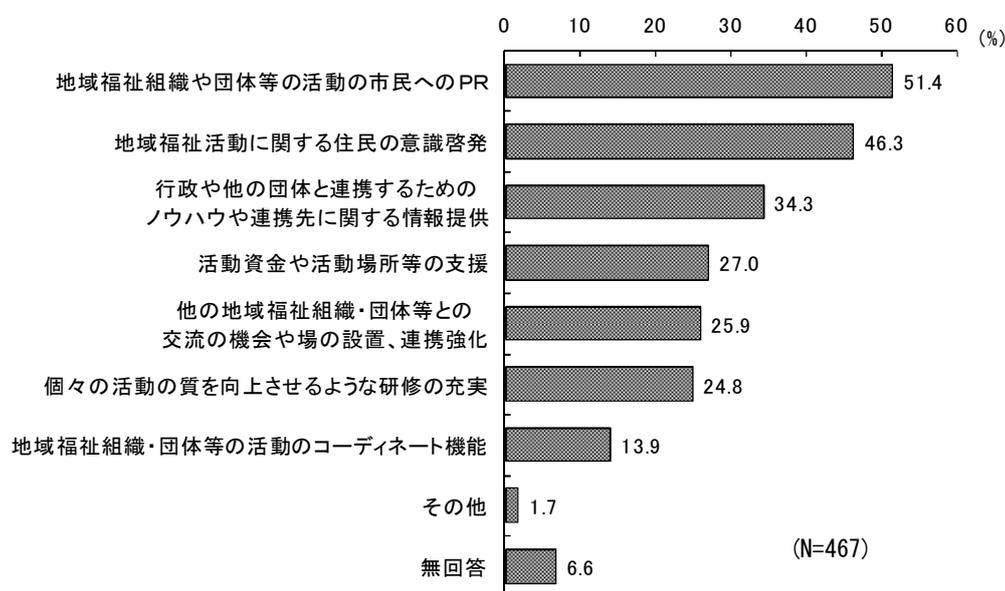


(2) 地域活動を進める上で行政に要望・期待すること (問 30)

地域活動を進める上で行政に対する要望や期待は、全体では「地域福祉組織や団体等の活動の市民へのPR (51.4%)」が最も多く、「地域福祉活動に関する住民の意識啓発(46.3%)」、「行政や他の団体と連携するためのノウハウや連携先に関する情報提供 (34.3%)」が続いている。(図表2-6-2-①)

担い手別にみると、民生委員・児童委員と町内会・自治会は上位3項目が全体と同じである。老人クラブは「地域福祉組織や団体等の活動の市民へのPR (62.3%)」が最も多いが、2位に「活動資金や活動場所等の支援 (51.9%)」が続いている。NPO等の組織は「活動資金や活動場所等の支援 (66.7%)」が最も多くなっている。(図表2-6-2-②)

図表2-6-2-① 地域活動を進める上で行政に要望・期待すること (全体：複数回答 (3つまで))



図表2-6-2-② 地域活動を進める上で行政に要望・期待すること (全体、担い手別：複数回答 (3つまで))

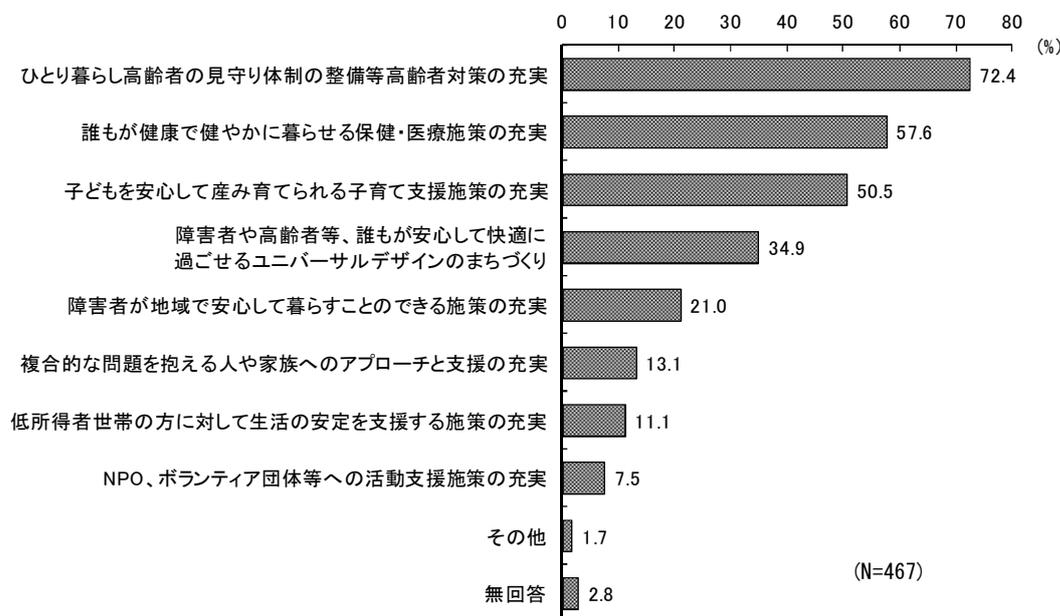
		の地域福祉組織や団体等の活動のPR	地域福祉活動に関する住民の意識啓発	行政や他の団体と連携するためのノウハウや連携先に関する情報提供	活動資金や活動場所等の支援	他の地域福祉組織や団体等との交流の機会や場の設置、連携強化	個々の活動の質を向上させるような研修の充実	地域福祉組織・団体等の活動のコーディネート機能	その他	無回答
全	体 (N= 467)	51.4	46.3	34.3	27.0	25.9	24.8	13.9	1.7	6.6
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	57.8	55.1	40.1	10.2	27.9	29.9	14.3	1.4	6.8
	町内会・自治会 (n= 219)	43.8	42.5	32.4	26.5	24.2	22.8	15.5	1.8	8.2
	老人クラブ (n= 77)	62.3	44.2	29.9	51.9	26.0	23.4	7.8	1.3	3.9
	NPO等の組織 (n= 15)	26.7	26.7	26.7	66.7	26.7	26.7	20.0	0.0	0.0

(3) 府中市が力を入れるべき地域福祉施策（問31）

府中市が力を入れるべき地域福祉施策は、全体では「ひとり暮らし高齢者の見守り体制の整備等高齢者対策の充実（72.4%）」が最も多く、「誰もが健康で健やかに暮らせる保健・医療施策の充実（57.6%）」、「子どもを安心して産み育てられる子育て支援施策の充実（50.5%）」が続いている。（図表2-6-3-①）

担い手別にみると、民生委員・児童委員、町内会・自治会、老人クラブは上位3項目が全体と同じである。NPO等の組織は「障害者が地域で安心して暮らすことのできる施策の充実（46.7%）」と「NPO、ボランティア団体等への活動支援施策の充実（46.7%）」が同数で最も多くなっている。（図表2-6-3-②）

図表2-6-3-① 府中市が力を入れるべき地域福祉施策（全体：複数回答（3つまで））



図表2-6-3-② 府中市が力を入れるべき地域福祉施策（全体、担い手別：複数回答（3つまで））

		ひとり暮らし高齢者の見守り体制の整備	誰もが健康で健やかに暮らせる保健・医療施策の充実	子どもを安心して産み育てられる子育て支援施策の充実	障害者や高齢者等、誰もが安心して快適に過ごせるユニバーサルデザインのまちづくり	障害者が地域で安心して暮らすことのできる施策の充実	複合的な問題を抱える人や家族へのアプローチと支援の充実	低所得者世帯の方に対して生活の安定を支援する施策の充実	NPO、ボランティア団体等への活動支援施策の充実	その他	無回答
全体 (N= 467)		72.4	57.6	50.5	34.9	21.0	13.1	11.1	7.5	1.7	2.8
担い手別	民生委員・児童委員 (n= 147)	70.1	51.0	59.2	36.1	23.1	22.4	15.0	8.2	2.0	3.4
	町内会・自治会 (n= 219)	72.1	56.6	49.3	37.0	16.0	7.8	11.0	5.9	0.9	2.7
	老人クラブ (n= 77)	87.0	77.9	41.6	28.6	23.4	7.8	6.5	1.3	1.3	2.6
	NPO等の組織 (n= 15)	33.3	40.0	26.7	33.3	46.7	20.0	6.7	46.7	6.7	0.0

7 自由回答（問 32）

府中市の福祉やまちづくりについて、意見・要望を自由記述形式でたずねたところ、全体で115件の回答があった。以下、主なものを掲載する。

①福祉施策について：28件

- ・ これからの高齢化社会においては、多数の高齢者自身が地域福祉のために活動できるようなくみづくりが必要でないかと思います。（民生委員・児童委員）
- ・ 元気な高齢者にもっと働いていただく。ひとり暮らし高齢者宅への家事等の支援事業を行い料金も適正に支払い、介護保険以外の支援をする。（民生委員・児童委員）
- ・ 最近いきいきプラザを見学しました。老人施設と保育所が合併しよい施設だと思いました。このような施設を数多く建設し、多数の方々に利用されればよいと思いました。市の中央部だけでなく地方部にもです。（民生委員・児童委員）
- ・ 少しずつ福祉が削られていくことが残念です。（町内会・自治会）
- ・ 学習センターのトレーニングルームのような健康に力を入れる設備を増やして、医療費の削減を。（民生委員・児童委員）

②担い手の活動について：24件

- ・ 民生委員の次世代を育てるためにも民生委員の仕事内容を見直す時期だと思う。（民生委員・児童委員）
- ・ 民生委員の仕事は1年365日24時間です。自分の仕事を後回しにしてまでやらなければならないのか、自問自答しながらの活動の日々です。関わる世帯が多すぎる。ひとりの担当地域を狭くして目の行き届く範囲になるともう少し活動しやすくなる気がします。人員を減らすのではなく増やしてもらいたいと切に願います。（民生委員・児童委員）
- ・ 自治会は極めて多忙です。やりたいこと、やらなければならないことが山積しています。しかし役員のなり手がないので手が回らない。（町内会・自治会）
- ・ 賃貸マンションの自治会なので活動は難しい。ですから他の自治会、町内会の人々との交流、情報交換をしたい。その中でいろいろ考えてみたいので交流の場をつくってください。（町内会・自治会）
- ・ 世代を超えた人々を対象とした人材育成を進めていく団体を支援していく場を設定し、経済的な援助をしてほしいと思う。（NPO等の組織）
- ・ 所属している団体が、福祉団体として活動するにあたり、活動に必要な資材の印刷に経費がかかることが現在の一番の問題点です。（NPO等の組織）

③行政への要望：23件

- ・ 福祉やまちづくりに関して内容、組織、成果等市民にわかりやすく説明し理解、共感を得るようにしてほしい。（町内会・自治会）
- ・ 地域世話人会、地域福祉協議会の会議であがった問題を必ず専門部会につなげてほしいと

言い続けてきたがその後の連絡がない。参加してよかったという会議をつくってほしい。

(町内会・自治会)

- ・ 机上の仕事だけでなく、現場をよく把握する努力が必要。(町内会・自治会)
- ・ 行政はもっと身近で相談にのってほしい。例えば高齢者問題、空き家問題、交通問題等、さまざまです。(町内会・自治会)

④まちづくり（ハード、ソフト）について：20件

- ・ 高齢者が安心して歩ける歩道や環境づくりを心がけてほしい。(老人クラブ)
- ・ 自転車は本来車道走行ですが、まず無理です。歩道を通ることを前提で余裕のある歩道の計画をお願いします。(民生委員・児童委員)
- ・ 子どものときからいろいろな人と交流することにより、障害者、高齢者など他者への思いやりの心を育てて安心して生活できるようにしてほしい。(民生委員・児童委員)
- ・ とおり近所とのコミュニケーションがスムーズに行える環境づくりを充実させたいと思います。顔見知りになりあいさつができる町になってほしい。(民生委員・児童委員)
- ・ ハード面はお金をかければできることと思いますが、ソフト面（それぞれの分野の専門的知識をもった人の育成）が必要ではないかと考えます。支援、支援とばかりに走らずに、個々が独立、自立の努力を進める手助けになるような社会の風を吹かせなくてはいけないと思います。(民生委員・児童委員)

⑤防災・防犯について：7件

- ・ 災害発生時や日常の防犯・防火の対応として、関係機関、行政の横の連携を密にし、しっかりと組織にする必要がある。(民生委員・児童委員)
- ・ 災害時における縦、横の連携が大事と思われれます。個々が意識をもってやることが一番根底になくはなりません、市（行政）が指導力をもって割り振りをしていただければもっとやりやすいのではないかと思います。(民生委員・児童委員)
- ・ マンションの建設が数多く見られます。人口が増えることで活性化する部分もあると思われるが、治安の面での取り組みはどうなっているのか気になる。特にメインストリートであるケヤキ並木は雑然としてきた感じがする。(民生委員・児童委員)

⑥情報の公開、PRなど：7件

- ・ 行政の業務内容が住民によく見えない。業務内容の明示、PRが必要と思う。(老人クラブ)
- ・ 市としていつでも誰でもが気軽に情報を得ることができるシステムをつくってほしい。(NPO等の組織)

⑦アンケートに関すること：6件

- ・ 今回のアンケートについて早急に具体的に実行できるように進めていただきたい。(町内会・自治会)